デジタルプログラムチャイム

型名 PA－DT600

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

ご注意

- 本製品にはチャイム音源として、複数の楽曲が収録されています。
  これらのデータをデジタルプログラムチャイム（PA-DT600）での再生以外の目的で利用することは禁止されています。
- お客様が、新規チャイム登録として新たな楽曲を追加登録する場合には、その楽曲の著作権者などの使用許諾を得る必要があります。

LST0374-001B

特長

年間 / 週間スケジュール対応

週間スケジュールを基本に、特別な日に対応した年間スケジュールの設定が可能です。

プログラム総数は 4000 ステップ

多くのステップ(スケジュールの実行単位)に対応しているので、細かなスケジュール設定が可能です。

外部制御出力を 8 回路内蔵

外部制御出力端子を 8 回路内蔵していることで、多くの機器を制御することができます。

高音質のチャイム音やオリジナル音楽の再生が可能

PCM 音源を採用することで、高音質のチャイム音、オリジナル音楽の再生ができます。

豊富な音源に対応

チャイム音や楽曲(右表参照)を豊富に内蔵し、最大 99 種類のオリジナル音楽の再生にも対応しています。

パソコンを使ってスケジュール設定が可能

タイマースケジュール設定ソフトウェア(付属品)を使って、パソコン(以後、PC と呼びます。)から PA-DT600(以後、本機と呼びます)のスケジュール設定と制御ができます。

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

ご注意　操作上の注意が書かれています。

メモ　機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　参考ページや参照項目を示しています。

■本書の記載内容について

●本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
●本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
● Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。

■チャイム音・楽曲一覧(デジタルチャイムカードに収録)

※ デジタルチャイムカードは、工場出荷時に本機に挿入されている CF カードです。

	分 類	曲 名	時間
1	チャイム	ウェストミンスターの鐘	30 秒
2		ウェストミンスターの鐘(短)	19 秒
3		よろこび	24 秒
4		あおぞら	23 秒
5		ディンドン	18 秒
6		ウェストミンスターの鐘　電子音	31 秒
7		よろこび　電子音	23 秒
8		あおぞら　電子音	22 秒
9		ディンドン　電子音	18 秒
10	楽器	ウェストミンスターの鐘 チューブラベル	31 秒
11		ウェストミンスターの鐘(短) チューブラベル	19 秒
12		よろこび　チューブラベル	22 秒
13		あおぞら　チューブラベル	22 秒
14		ディンドン　チューブラベル	18 秒
15		チャイム 1 音　チューブラベル	12 秒
16		チャイム 上り 3 音　チューブラベル	18 秒
17		チャイム 下り 3 音　チューブラベル	18 秒
18		アマリリス　ビブラフォン	27 秒
19		メロディ　ビブラフォン	22 秒
20		よろこび　グロッケン	20 秒
21		あおぞら　グロッケン	20 秒
22	朝向け曲	「ペールギュント」より「朝」	1 分 3 秒
23		夜が明けた	1 分 3 秒
24		「四季」より「春」	1 分 3 秒
25	昼向け曲	小さな世界	3 分 2 秒
26		線路は続くよどこまでも	1 分 4 秒
27		おもちゃの兵隊	1 分 1 秒
28	夕向け曲	夕やけこやけ	1 分 5 秒
29		遠き山に日は落ちて	1 分30秒
30		峠の我が家	1 分 4 秒
31	夜向け曲	アニーローリー	1 分 2 秒
32		ほたるの光	3分3秒
33	体操	ラジオ体操第一(号令入り)	3分 13秒
34	サイン音	ティンクル 1	4 秒
35		ティンクル 2	7 秒
36		ティンクル 3	11 秒
37		ティンクル 4	5 秒
38		フラワーゴブリン 1	4 秒
39		フラワーゴブリン 2	4 秒
40		フラワーゴブリン 3	16 秒
41		ベルズ　オーバーチェア	21 秒
42		ベルズ　シンパシー	19 秒
43		スカイ イン ザ ピース	19 秒
44		リリィ	14 秒
45		リバー	14 秒
46		グッドラック	13 秒

もくじ

はじめに

操作をする

準備

動作パターンを設定する

工場出荷時の設定に戻す

ログ管理について

その他

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

■ 次のような場所に置かないでください。
誤動作や故障原因になります。
- 許容動作温度（0 ℃～ 40 ℃）範囲外の 暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度（30% ～ 80%）範囲外の湿気の多いところ
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

■ 本機の設置、接続や設定には、技術を必要とします。販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。

■ 本機には停電補償の電池が内蔵されています。電池がフル充電の状態で約 30 日の停電補償となっています。また、設置時に電池がフル充電の状態になるまで約 50 時間かかります。

■ 本機は電源スイッチを持っていません。本機を電源から遮断するときは電源コードをコンセントから抜いてください。設置条件などにより電源コードをはずせないときは、本機の電源コードを、遮断能力のある分電盤のサーキットブレーカーを経由した AC コンセントまたは電源制御ユニット(EM-P11)などのコンセントに接続してください。

■ 長時間電源を遮断したあとに再び使用を開始するときは、手動操作で内部時計の時刻を合わせてください。内部時計の誤差は月差±５秒(＋25 ℃)ですが、電源遮断中に誤差が累積して時刻自動補正の範囲を超えている可能性があります。

■ 時刻修正のために音声入力に接続した FM チューナーは NHK-FM に正しく同調させてください。出力ボリュームがあるときは、ボリュームを最大にし、受信モード(MONO-STEREO)は MONO にしてください。
ビデオデッキを接続した場合は、NHK 教育チャンネルを正常に受信していることを確認してください。

■ 時刻修正の親時計は 30 秒式のものをお使いください。本機は 1 秒式親時計では時刻補正ができません。

お手入れについて

■ 本機はやわらかい布でふいてください。
シンナーやベンジンでふくと表面が溶けたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

移動について

■ 移動するときは接続コード類を外してください。
移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

省エネについて

■ 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源コードについて

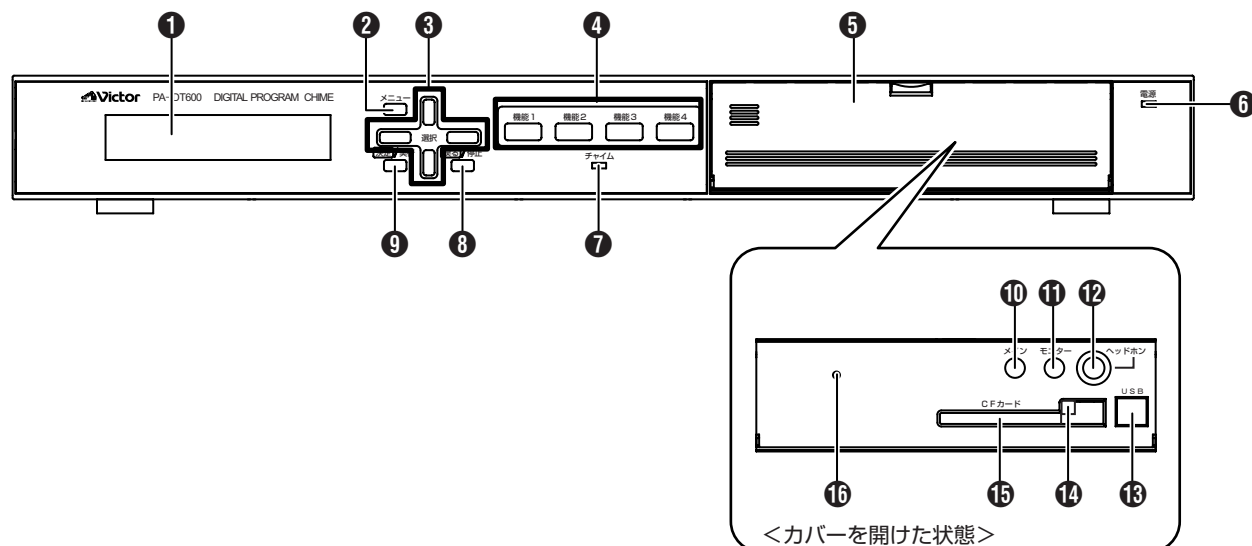
■ 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしないでください。
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

CF カード(デジタルチャイムカード)について

■ 本機に添付されている CF カード(デジタルチャイムカード)以外の CF カードでの動作保証はいたしません。

各部の名称とはたらき

前面

＜カバーを開けた状態＞

❶ LCD 画面
待機画面、実行中画面、設定画面などの各種画面が表示されます。

❷【メニュー】ボタン
設定画面のメインメニューに切り換えるときにこのボタンを押します。

❸【選択】上、下、左、右ボタン
設定をするときに使用します。

上、下ボタン：ＬＣＤ 画面に表示されるメニューを上下にスクロールできます。

左、右ボタン：ＬＣＤ 画面上のカーソルを左右に移動します。

❹【機能 1、2、3、4】ボタン
特別な動作(たとえば、祝祭日用のスケジュール)を割り当てておき、通常の動作中にこのボタンを押すと、特別な動作に切り換えることができます。(☞ 8 ページ「【機能】ボタン、【制御入力】端子の 動作を実行する」参照)

❺ カバー
ＣＦ カードの出し入れや ＵＳＢ ケーブル、ヘッドホンを接続するとき、ボリューム調節のときに、カバーを開けて使用します。

❻【電源】表示灯
電源が供給されていると、緑色に点灯します。

❼【チャイム】表示灯
チャイム音や楽曲を再生しているときに、緑色に点灯します。チャイム音や楽曲を再生していない間は消灯します。

❽【戻る / 停止】ボタン
実行中の動作を停止するときや、設定中に上位メニューに戻るときに、このボタンを押します。

❾【決定 / 実行】ボタン
カーソルのある項目を決定または動作を実行するときに、このボタンを押します。

❿【メイン】ボリューム
⓱【ライン出力】端子から出力する音の音量を調節します。
右にまわすと音が大きく、左にまわすと音が小さくなります。

⓫【モニター】ボリューム
⓬【ヘッドホン】端子から出力する音の音量を調節します。
右にまわすと音が大きく、左にまわすと音が小さくなります。

⓬【ヘッドホン】端子
プラグ径が φ3.5 mm ヘッドホンを接続し、チャイムの再生状態を確認します。

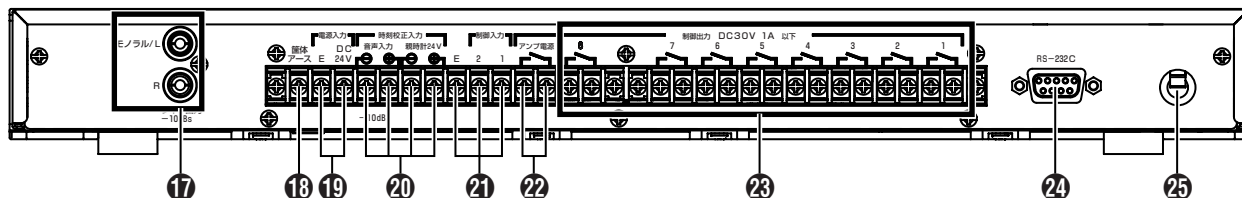
⓭【USB】端子
PC を使用して本機を制御するときに ＵＳＢ ケーブルを接続します。
(☞35 ページ「PC を使って本機を制御する」参照)

⓮ 取り出しボタン
ＣＦ カードを ⓯【CF カード】挿入口から取り出すときに、このボタンを押します。
(☞9 ページ「CF カードを本機から 取り出す」参照

⓯【CF カード】挿入口
ＣＦ カードの出し入れをします。
工場出荷時には、CF カード(デジタルチャイムカード)が挿入されています。
(☞15 ページ「CF カードを入れる」参照)

⓰ リセットスイッチ
本機をリセットするときに使用します。
通常は触らないでください。

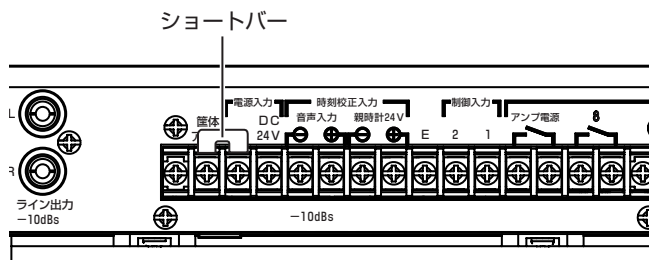
各部の名称とはたらき（つづき）

背面

⑰【ライン出力】端子
アンプの音声入力端子と接続します。
モノラルアンプで使用する場合は、【モノラル / L】端子を接続します。L/R の信号がミックスされます。
(☞ 12 ページ「アンプを接続する」参照)

⑱【筐体アース】端子
本機に接続した外部機器の筐体アース端子またはラックのアース端子に接続してください。
安全アースではありません。

ご注意

- 工場出荷時は、ショートバーにより筐体アースと信号系アース（E 端子）が接続されています。本機をラックに組み込んだとき、信号系アースが２点アースとなりノイズが発生する場合や、信号系アースを筐体に接続しないほうが有利な場合は、ショートバーをはずしてください。

ショートバー

⑲【DC24V】端子
㉔電源コードからのAC100 V電源供給をせずに、DC24 V電源を供給したいときや、停電時でもチャイムを再生したいときに接続します。

⑳【時刻校正入力】端子
【音声入力】端子を使用する場合：
FM ラジオチューナーやビデオデッキの音声出力端子と接続します。放送波中の時報信号を受信し、本機内部時計の時刻補正を行います。

【親時計 24V】端子を使用する場合：
30 秒式の親時計と接続します。親時計からの 24V 信号を受信し、本機内部時計の時刻補正を行います。
(☞ 12 ～ 13 ページ「時刻補正機器を接続する」参照）

㉑【制御入力１、２】端子
本機を制御する機器と接続します。
この端子に接続した機器から本機を特別な動作（例えば、チャイム再生など）に切り換えることができます。
(☞ 14 ページ「被制御機器を接続する」参照）

㉒【アンプ電源】端子
アンプの起動入力端子と接続します。チャイム再生時に連動して動作します。
(☞ 12 ページ「アンプを接続する」参照)

㉓【制御出力１、２、３、４、５、６、７、８】端子
被制御機器（アンプなど）を接続します。
(☞ 14 ページ「被制御機器を接続する」参照）

㉔【RS-232C】ポート
機能拡張をするためにパソコンなどを接続します。

㉕ 電源コード
AC100 V の電源を供給します。

スケジュールの実行と停止

スケジュールを実行または停止するには、あらかじめスケジュールを設定する必要があります。スケジュールの設定については、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

ご注意

- LCD 画面に『L』が表示されているときは、ボタンがロック(ボタン操作無効)されています。ボタンのロックを解除してから操作を行なってください。(☞9 ページ「ボタンのロックを解除する」参照)

2006/04/03 Mon Ⓛ ― ロック表示
13:02:03 ヘイジツ

スケジュールを実行する

あらかじめ設定してあるスケジュールを実行したいときに行います。

1. スケジュールが停止されていることを確認する

スケジュールが停止されていると、LCD 画面に『タイキチュウ』と表示されます。

2006/04/03 Mon
13:01:02 タイキチュウ

ご注意

- CF カード未挿入またはエラーで認識できない場合は、LCD画面に『*CFカクニン』と表示されますので、下記の対応を行なってください。
  - ・CF カード未挿入の場合は、本機に CF カードを挿入してください。
  - ・エラーの場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

2.【決定/ 実行】ボタンを押す

スケジュールが実行されると、LCD 画面に実行中のパターン名が表示されます。スケジュール開始直後は、次に実行するステップパターン名を表示します。

2006/04/03 Mon
13:02:03 ヘイジツ

ご注意

- 時計設定を行なっていない(工場出荷時の設定のまま)場合、LCD 画面に『トケイヲセッテイシテクダサイ』と10秒ほど表示されます。設定については、販売店またはビクターサービスにご相談ください。
- 1つもスケジュール設定がされていない場合は、LCD画面に『スケジュールヲセッテイシテクダサイ』と表示されます。【決定/ 実行】ボタンを押すと、待機画面に戻ります。設定については、販売店またはビクターサービスにご相談ください。
- スケジュール実行中(LCD 画面に、実行中のパターン名または『ジッコウチュウ』と表示されているとき)に、チャイム重複またはリレー重複などでエラーが発生した場合や、機能ボタン、制御入力にステップが1つも設定されていないパターンを実行した場合、下図のようにLCD 画面に『E』と表示されます。スケジュールの設定内容をご確認ください。

2006/04/03 Mon Ⓔ ― エラー表示
13:02:03 ヘイジツ

メモ

- 実行中画面を表示中に【選択】上、下ボタンを押すと、動作状況確認画面に切り換わり、実行中のパターン名、リレーの動作状態、再生中のチャイム番号を確認できます。チャイム番号については、チャイム停止時には確認できません。動作状況確認画面を表示中に再度、【選択】上、下ボタンを押すと、実行中画面に戻ります。

<例>

- スケジュール実行中でも当日に実行するパターンを設定していない場合は、LCD画面に『ジッコウチュウ』と表示されます。

スケジュールを停止する

1. 実行中画面になっていることを確認する

LCD 画面に、実行中のパターン名または『ジッコウチュウ』と表示されています。

2006/04/03 Mon
13:02:03 ヘイジツ

2.【戻る/ 停止】ボタンを押す

停止確認画面が表示されます。

スケジ゛ュールヲテイシシマスカ?
ハイ/イイエ

3.【選択】左右ボタンで「ハイ」を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す

スケジュールを停止し、LCD 画面は待機中画面になります。次のことを行うと、スケジュールは停止されずに実行中画面に戻ります。

- ・停止確認画面で『イイエ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す。
- ・停止確認画面を表示中に【戻る/ 停止】ボタンを押す。

【機能】ボタン、【制御入力】端子に割り当てた動作の実行と停止

【機能】ボタン、【制御入力】端子の動作を実行する

通常のスケジュール実行時に、あらかじめ【機能】ボタン、【制御入力】端子に設定しておいた特別な動作を実行することができます。【機能】ボタン、【制御入力】端子へ割り当てる動作設定については、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

ご注意

- 【機能】ボタン、【制御入力】端子に割り付けた、チャイム再生、同一のリレー端子の制御、スケジュール設定の動作は同時に実行することができません。一番最後に入力された機能または制御入力の動作を実行します。

■【機能】ボタンに割り当てた動作を実行する場合

1. 実行中画面になっていることを確認する

LCD 画面に、実行中のパターン名または『ジッコウチュウ』と表示されています。

```
  2006/04/03 Mon
13:02:03 ヘイジツ
```

2. 実行したい動作を設定してある【機能】ボタンを押す

実行中の【機能】ボタン、【制御入力】端子が LCD 画面に表示されます。『F』が【機能】ボタン、『E』が【制御入力】端子を示しています。

実行中の【機能】ボタン

（例：【機能】ボタン１を実行中）

■【制御入力】端子に割り当てた動作を実行する場合

【制御入力】端子に接続された外部機器から本機に信号が入力されると、動作を実行します。

```
  2006/04/03 Mon
13:04:05 F---- E1-
```

実行中の【制御入力】端子

（例：【制御入力１】を実行中）

メモ

- チャイム再生を割り当てている場合は、アンプなどの電源が起動した５秒または 10 秒後に再生します。

実行中の【機能】ボタン、【制御入力】端子の動作を停止する

スケジュール設定時の場合、実行中の【機能】ボタン、【制御入力】端子の動作を停止し、通常のスケジュール設定した動作に戻します。

1.【戻る / 停止】ボタンを押す

【機能】ボタン、【制御入力】端子の動作を実行中に【戻る / 停止】ボタンを押すと、機能停止画面または制御停止画面になります。

機能停止画面：【機能】ボタンの動作を実行中または【機能】ボタンと【制御入力】端子の動作を実行中に、【戻る / 停止】ボタンを押すと表示されます。

```
  2006/04/03 Mon
キノウキーテイシ ハイ/イイエ
```

<機能停止画面>

制御停止画面：【制御入力】端子のみの動作を実行中に、【戻る / 停止】ボタンを押すと表示されます。

```
  2006/04/03 Mon
セイギョテイシ ハイ/イイエ
```

<制御停止画面>

2.【選択】左右ボタンで「ハイ」を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押す

【機能】ボタン、【制御入力】端子の動作を停止します。LCD 画面は待機中画面または実行中画面になります。

次のことを行うと、【機能】ボタン、【制御入力】端子の動作は停止されません。

- 機能停止画面または制御停止画面で「イイエ」を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押す。
- 機能停止画面または制御停止画面を表示中に【戻る / 停止】ボタンを押す。

メモ

- 【機能】ボタン、【制御入力】端子にチャイム再生、【制御出力】端子の制御を割り当てている場合のみ、【戻る / 停止】ボタンを押すと、割り当てている動作が停止します。

ボタンのロックと解除

ボタンをロックする

1. **待機中画面または実行中画面になっていることを確認する**

```
  2006/04/03 Mon
13:01:02 タイキチュウ
```

＜待機中画面＞

```
  2006/04/03 Mon
13:02:03 ヘイシ゛ツ
```

＜実行中画面＞

ご注意

- メニューの設定中(メニュー画面の表示中)は、ボタンのロック設定はできません。
- ロック中は、すべてのボタンがロックされます。
- 停電などで本機の電源が切れてもロック状態は保持されます。

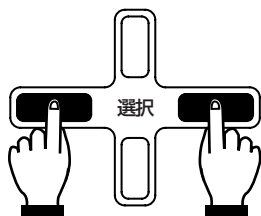
2.【選択】左右ボタンを同時に長押し(約３秒)する

ボタンがロックされると、LCD 画面に「L」と表示されます。

```
  2006/04/03 Mon Ⓛ
13:02:03 ヘイシ゛ツ
```

ロック表示

ボタンのロックを解除する

ボタンのロック中(LCD 画面に『L』と表示されている状態)に、【選択】左右ボタンを同時に長押し(約３秒)します。
ボタンのロックが解除されると、LCD 画面の『L』表示が消えます。

同時に長押し(約３秒)

```
  2006/04/03 Mon ○
13:02:03 ヘイシ゛ツ
```

『L』表示が消える

CF カードを本機から取り出す

本機動作中に CF カードを停止し、取り出したいときに行います。

ご注意

- CF カードは本機を動作させるために重要なものです。本機を動作させたいときには、必ず動作させたい内容(スケジュールなど)が記録された CF カードを本機に挿入してください。
- CF カードを本機から取り出すときは必ず上記の操作を行なってください。上記の操作を行わずに取り出すと、CF カードが破損する原因となります。
- CFカードを入れる場合は、15ページの「CFカードを入れる」を参照ください。
- CF カードを取り出す前に金属部分(ラックまたは本機上面など)に手を触れてください。

1. **メインメニュー画面から、『1. セッテイ』→『1-4.CF カード』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す**

CF カード停止確認画面が表示されます。

```
1-4.CFカート゛
CFカート゛ヲテイシシマス ハイ/イイエ
```

2.【選択】左、右ボタンで、『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す

CF カードの動作が停止し、『CF カードヲテイシシマシタ』と表示されます。

```
1-4.CFカート゛
CFカート゛ヲテイシシマシタ
```

3.CF カードを取り出す

CF カードを取り出すと、LCD 画面に『CF カードヲソウニュウシテクダサイ』と表示されます。

準備の流れ

右記の手順で準備を行なってください。

お客様へ

- 設置･接続作業には専門技術が必要となります。販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。
- 設置･接続作業を行うときには、設置業者様にこの取扱説明書（本書）をお渡しください。

販売店または設置業者様へ

- 設置･接続作業を行う前に必ずお読みいただき、正しく設置･接続を行なってください。お読みになったあとは、お客様へお渡しください。

設置上の注意

- 本機は電源スイッチを持っていません。長期間使用しないなどで本機の電源を遮断したいときのために、下記のどれか可能な作業を行なってください。
  - ・電源コードを、分電盤のサーキットブレーカーで遮断される AC コンセントに接続し、ブレーカーを「切」にする。
  - ・電源コードを、電源制御ユニット（EM-P11）などの電源を遮断できる装置のコンセントに接続し、装置を「切」にする。
  - ・本機後面に簡単に手が届くように設置し、いつでも電源コードを抜ける状態にする。
- 設置･接続作業は、電源を切ってから行なってください。
- 時刻修正の親時計は 30 秒式のものをご使用ください。本機は 1 秒式の親時計では時刻修正ができません。
- ラックに本機を取り付けるときは温度上昇を緩和するように、電力増幅ユニットとの間隔を 1U 以上空けてください

Step1 **本機を設置する（☞11 ページ）**
本機を平らな場所またはラックに取り付けます。

Step2 **本機に外部機器を接続する（☞12 ページ）**
本機にアンプ、時刻補正機器、非常用放送設備や AV 卓（以後、被制御機器と呼びます。）などを接続します。

Step3 **CF カードを入れる（☞15 ページ）**
CF カードが挿入されていないと、本機を動作させることができません。（工場出荷時には CF カード（デジタルチャイムカード）が本機に挿入されています。）

Step4 **基本設定をする（☞16 ページ）**
本機を動作させる前に基本的な設定を行います。

Step5 **動作確認をする（☞18 ページ）**
【制御出力】端子に接続した機器が正常に動作するか、チャイムが再生されるかを確認します。

準備完了

Step1:
本機を設置する

本機を平らな場所に設置します。

本機をラックに取り付ける場合

本機をラックに取り付けるときには、別売りのラックマウント金具（PA-U11）が必要ですので、あらかじめご用意ください。

■取り付け可能のラックについて

本機を取り付けるラックは、下記のどれかをご使用ください。

スタンダードラック：PA-R631
（収納ユニット数 31U、当社製品）
ロングラック　　：PA-R641
（収納ユニット数 41U、当社製品）
EIA 規格相当品　：奥行き 450 mm 以上のもの
（他社製品）

■取り付け手順

ご注意

- ラック内に電力増幅ユニットがある場合、電力増幅ユニットとの間に1U以上空けて本機を設置してください。
- ラック内の温度が 40 ℃以上にならないようにしてください。

1. 本機底面のフット（4 個）をはずす。

2. 本機の左右側面の取付ねじ 4 本をはずす。

3. PA-U11 に付属の取付ねじ（M4 × 10 mm）4本を使って、本機にラックマウント金具（PA-U11）を取り付ける。

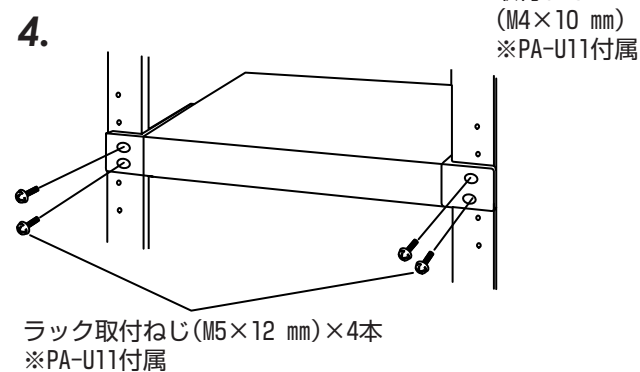
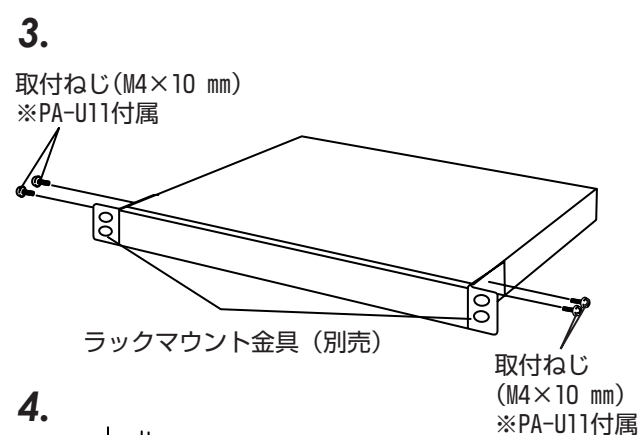
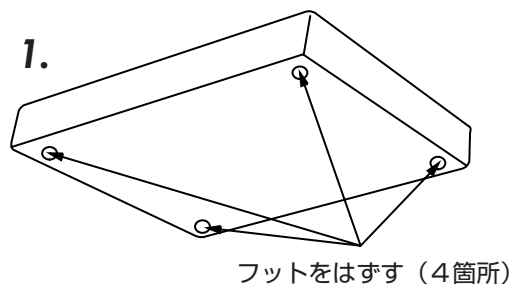
4. ラック取付ねじ（M5 × 12 mm）4本を使って、本機をラックに取り付ける。

ご注意

- 取付ねじやラック取付ねじは、必ず指定のものをご使用ください。指定以外の長いねじや短いねじを使用すると、故障や落下の原因となります。

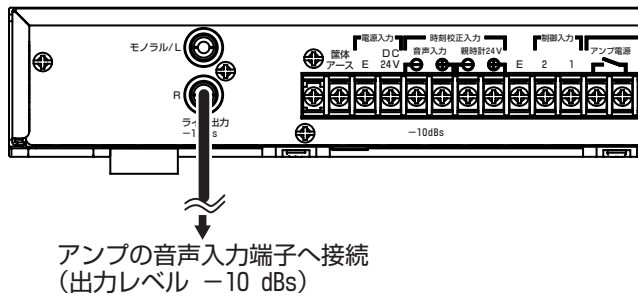
1.

3.

4.

Step2: 本機に外部機器を接続する

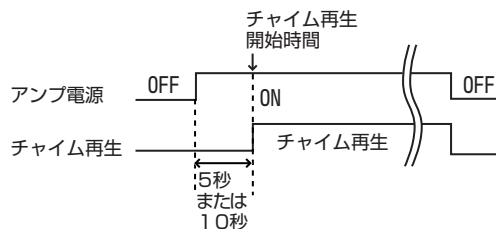
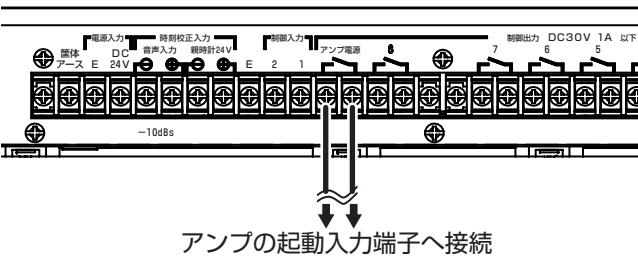
本機に外部機器を接続するときは、必ず電源を切った状態で行なってください。
接続する外部機器の詳細については、各外部機器の取扱説明書をご覧ください。

アンプを接続する

本機の【ライン出力】端子とアンプの音声入力端子を接続します。

メモ

- モノラルで使用する場合は、本機の【モノラル/L】端子とアンプの音声入力端子を接続してください。

■アンプの電源の「入」、「切」を制御する場合

- ・チャイム再生開始時刻の 5 秒または 10 秒前に、アンプの電源を入れることができます。
  （☞17 ページ 「パワーアンプウェイト時間設定」 参照）
- ・本機の【アンプ電源】端子とアンプの起動入力端子を接続します。

時刻補正機器を接続する

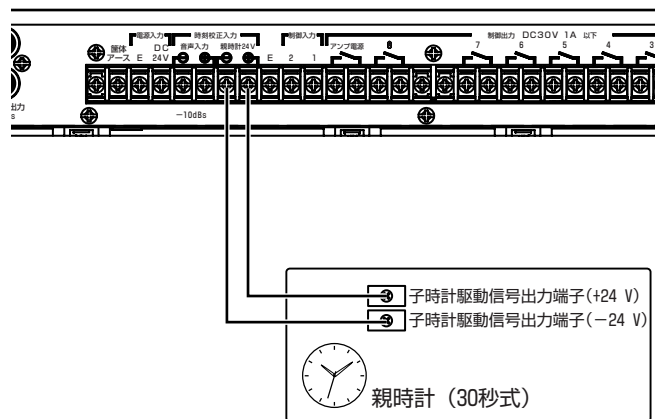
親時計や FM ラジオチューナーを接続し、本機内部時計の時刻補正を行います。

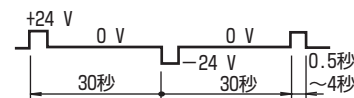
■親時計を使って時刻補正する場合

ご注意

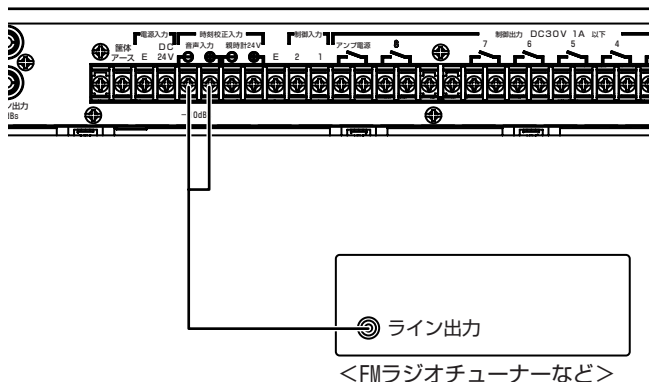
- 本機は、1 秒式の親時計では時刻補正できません。必ず、30 秒式の親時計を接続してください。

本機の【親時計 24V】端子の⊕と親時計の子時計駆動信号出力端子（24V）の⊕、【親時計 24V】端子の⊖と親時計の子時計駆動信号出力端子（24V）の⊖を接続します。

対応時計信号：DC24 V、30 秒有極パルス（工業用親時計標準信号）
補正時刻　　：00:00、7:00、12:00、19:00
補正範囲　　：± 15 秒

メモ

- 本機の内部時計は下図にある「30 秒式親時計」信号により時刻補正がされます。

■FM ラジオチューナーを使って時刻補正する場合

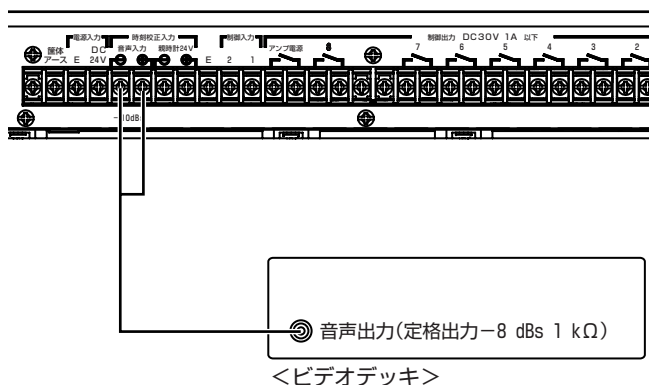
本機の【音声入力】⊕、⊖端子と FM ラジオチューナーのライン出力端子を接続します。

補正時刻：00：00、7：00、12：00、19：00
補正範囲：± 15 秒

＜FMラジオチューナーなど＞

ご注意

- NHK-FM の電波を正常に受信していることをラジオのスピーカーで確認してください。
- FM ラジオチューナーのスピーカー出力端子に接続しないでください。必ずライン出力に接続してください。
故障の原因となります。

■ビデオデッキを使って時刻補正する場合

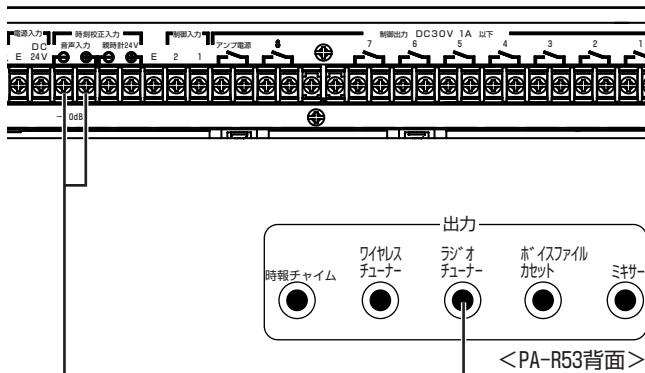
・本機の【音声入力】⊕、⊖端子とビデオデッキの音声出力端子（定格出力 − 8 dBs 1 kΩ）を接続します。
・ビデオデッキの受信放送局は NHK 教育チャンネルに設定してください。

＜ビデオデッキ＞

ご注意

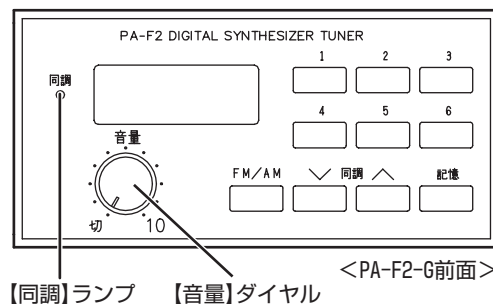
- NHK 教育チャンネルを正常に受信していることをビデオデッキの音声出力で確認してください。
- スピーカー出力端子に接続しないでください。必ず音声出力に接続してください。故障の原因となります。

■ユニットケース（PA-R53）とラジオチューナーユニット（PA-F2-G）の組み合わせを使って時刻補正する場合

1. 本機の【音声入力】⊕、⊖端子と PA-R53 の【ラジオチューナー】端子を接続します。

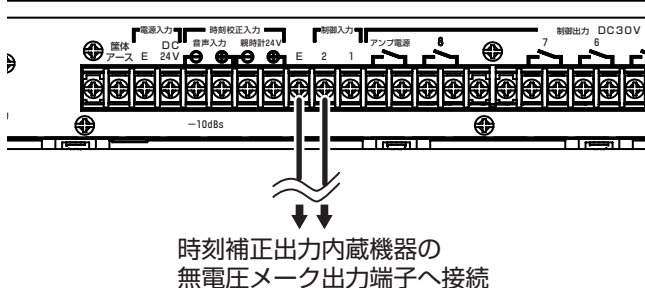
＜PA-R53背面＞

2. PA-F2-G の受信放送局を NHK-FM に設定します。
このとき、【同調】ランプが点灯していることを確認してください。

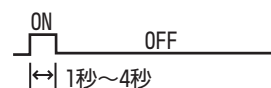
3. PA-F2-G の【音量】ダイヤルで出力レベルを 8 ～ 10 の間に調節します。

＜PA-F2-G前面＞
【同調】ランプ　【音量】ダイヤル

ご注意

- NHK-FM を正常に受信していることをラジオチューナー出力で確認してください。

■【制御入力 2】端子を使用して時刻補正する場合

・【制御入力 2】端子に時計校正機能を設定してください。（☞ 31 ページ 「【制御入力】端子の機能を設定する」参照）
・本機後面の【制御入力 2】端子に、時刻補正出力を内蔵した機器を接続します。

メモ

- 時刻補正出力には、下図の条件を満たす必要があります。

Step2: 本機に外部機器を接続する（つづき）

時刻補正の確認をする

時刻補正の接続確認をします。

1. 校正信号確認画面を表示する。

メインメニュー画面から、『4. メンテナンスメニュー』→『4-6. トケイコウセイカクニン』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。

```
4.メンテナンスメニュー
4-6.トケイコウセイカクニン
```

2. 時刻補正信号が入力されるのを待つ。

親時計、時報、【制御入力 2】端子に時計校正が設定されていると、信号が入力されるのを待ちます。信号が入力されると、LCD 画面に約 5 秒『カクニンデキマシタ』と表示され、『ニュウリョクマチ』表示に戻ります。

```
コウセイシンゴウカクニン
ニュウリョクマチ        [モドル]
```

```
コウセイシンゴウカクニン
カクニンデキマシタ      [モドル]
```

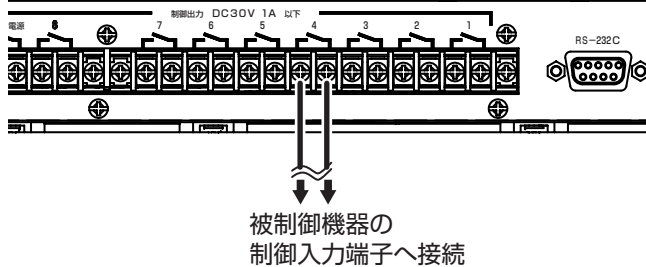
メモ

- 【決定 / 実行】ボタンまたは【戻る / 停止】ボタンを押すと、時計校正確認メニュー画面に戻ります。

被制御機器を接続する

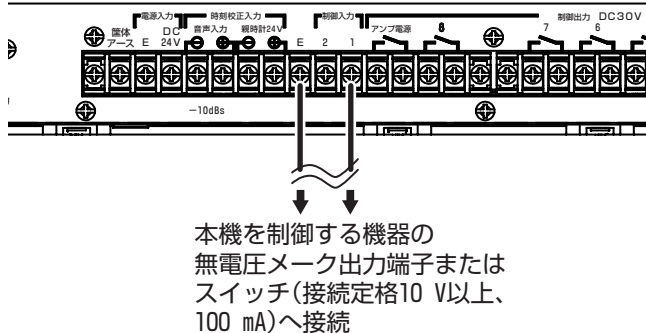
本機の【制御出力 1 ～ 8】端子のどれかと被制御機器の制御入力端子を接続します。

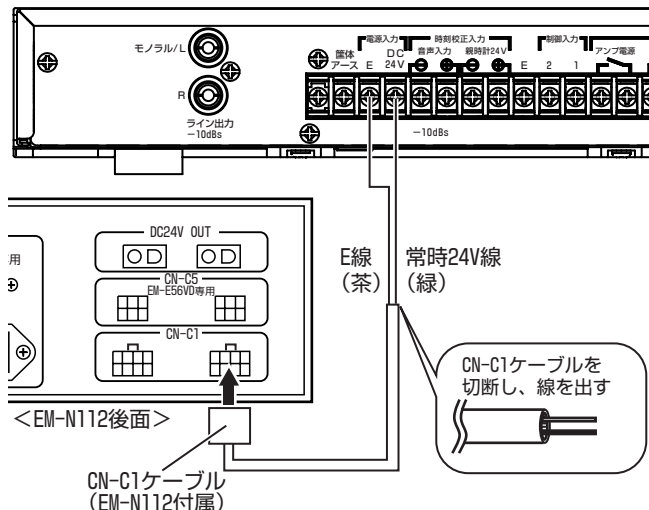
ご注意

- 【制御入力 1、2】端子への接続については、販売店またはビクターサービス窓口へご相談ください。
- 本機に接続する被制御機器は、DC 30 V、1 A 以下のものを必ずご使用ください。DC 30 V、1 A 以上の被制御機器を使用すると、故障、火災の原因となります。

メモ

- 【制御出力】端子は、無電圧メーク出力接点です。リレー接点なので極性はありません。

制御入力機器を接続する

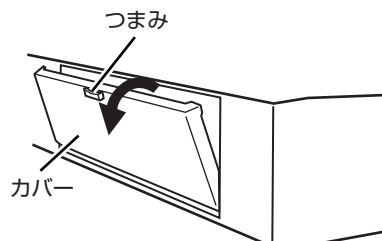
・本機後面の【制御入力 1、2】端子に本機を制御する機器を接続します。

非常電源ユニット(EM-N112) を接続する

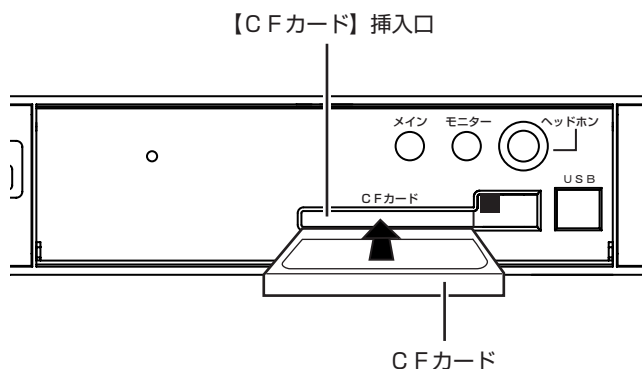
・停電時でも本機を作動可能にする場合は、非常電源ユニット（EM-N112) を接続してください。
・停電時は、非常電源ユニットから DC 24 V が出力されます。
・非常電源ユニットの詳細については、非常用放送設備の設置説明書をご覧ください。
・本機の【DC24 V】端子に CN-C1 ケーブルの常時 24V 線（緑）を接続し、本機の【E】端子に CN-C1 ケーブルの E 線（茶）を接続します。

ご注意

- 非常用放送設備と組み合わせて使用する場合は、本機専用の非常電源ユニット(EM-N112) を用意し、本機に接続してください。非常用放送設備用の非常電源ユニットには接続しないでください。

Step3: CF カードを入れる

1. 本機前面のカバーを開ける

つまみに指をかけ、手前に開きます。

2. CF カードを下図のように本機に入れる

CF カードを奥へ押し込んでください。

3. 本機前面のカバーを閉める

カバー上端の左右両側を押して閉めます。

ご注意

- 工場出荷時には、すでに基本動作データ（チャイム音・楽曲46種類、スケジュール設定などの保存用フォルダー）が保存されているCFカード（デジタルチャイムカード）が挿入されています。
- CF カードは本機の動作に必要なものです。
本機に CF カードが挿入されていない場合は、基本動作データが保存されているCFカードを必ず挿入してください。
- 本機の動作中に CF カードを取り出したいときは、必ず設定メニュー画面でCFカードの動作を停止してから取り出してください。停止せずにCFカードを取り出すと、故障の原因となります。
- 工場出荷時に挿入されていたデジタルチャイムカード以外をご使用になりたい場合は、お買い上げのビクターシステム営業所にご相談ください。
- CF カードを挿入する前に金属部分（ラックまたは本機上面など）に手を触れてください。

Step4: 基本設定をする

・本機の動作、スケジュール設定を行うために必要な基本的な設定などを行います。
・待機中画面（LCD 画面に『タイキチュウ』と表示されている状態）のときに【メニュー】ボタンを押すと、メインメニュー画面になります。

ご注意

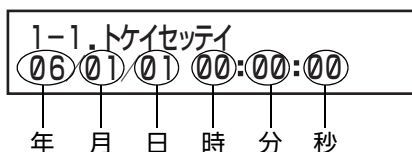
- 工場出荷時などスケジュールが設定されていない状態で電源を入れると、LCD 画面に『スケジュールヲセッテイシテクダサイ』と表示されます。基本設定を行なっていない場合は、基本設定を行なってからスケジュール設定を行なってください。
『スケジュールヲセッテイシテクダサイ』と表示されている状態のときに、【決定/ 実行】ボタンを押すと、待機中画面になります。

メモ

- 設定中に【戻る/ 停止】ボタンを押すと、設定中の内容を確定しないで設定メニュー画面に戻ります。もう一度、【戻る/ 停止】ボタンを押すと、メインメニュー画面に戻ります。

時計設定

1. メインメニュー画面から、『1. セッテイ』→『1-1. トケイセッテイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す
時計設定メニュー画面が表示されます。

2.【選択】左、右ボタンで、年、月、日、時、分を選択し、【選択】上、下ボタンで設定する

3. 年、月、日、時、分までを設定したら、秒を選択し、電話の時報などに合わせて【決定/ 実行】ボタンを押す
設定が確定し、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

LCD バックライト設定

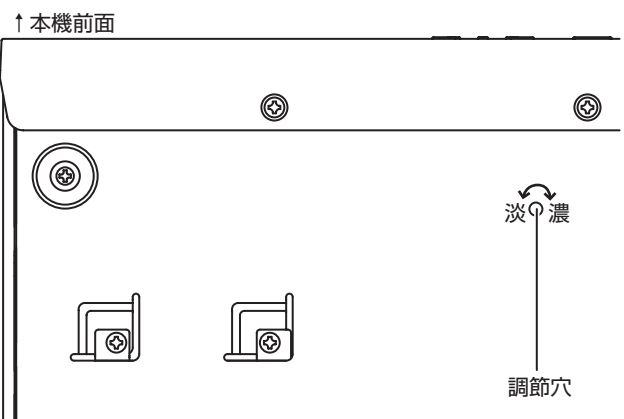
1. メインメニュー画面から、『1. セッテイ』→『1-2.LCDバックライト』を選択し、【決定/実行】ボタンを押す
LCD バックライト設定メニュー画面が表示されます。

2.【選択】左、右ボタンで、『テントウ』、『ショウトウ』、『キーレンドウ』のどれかを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す
LCD バックライト設定が確定し、自動的に設定メニュー画面に戻ります。
『テントウ』　:常に、LCD バックライトを点灯します。
『ショウトウ』　:常に、LCD バックライトを消灯します。
『キーレンドウ』:ボタンを押してから 30 秒点灯します。
（工場出荷時:『テントウ』）

1-2. LCDバックライト
テントウ/ショウトウ/キーレンドウ

メモ

- 『ショウトウ』に設定していても下記の状態になると、バックライトが点灯します。
  ・スケジュール実行中に【戻る/ 停止】ボタンを押したとき
  ・メインメニュー画面に入ったとき
  ・PC との通信を開始したとき
- **LCD 画面のコントラスト調節について**
LCD画面の表示が見えにくい場合には、本機底面の調節穴からコントラストを調節することができます。
調節穴に精密ドライバー（マイナス）を差し込み、調節穴の中のネジを左右にゆっくりとまわして調節してください。このとき、力を入れてまわすと、ネジを破損する原因となることがありますのでご注意ください。
コントラストの調節をする場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

↑本機前面
淡
濃
調節穴

オートスタート設定

1. **メインメニュー画面から、『1. セッテイ』→『1-3. オートスタート』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押す**

オートスタート設定メニュー画面が表示されます。

2. **【選択】左、右ボタンで、『ケイゾク』、『ジッコウ』、『テイシ』のどれかを選択し、【決定 / 実行】ボタンを押す**

オートスタート設定が確定し、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

『ケイゾク』：電源を入れると、自動的に電源 OFF 前のスケジュール状態になります。
『ジッコウ』：電源を入れると、自動的にスケジュール実行状態になります。
『テイシ』　：電源を入れると、スケジュール停止状態になります。
（工場出荷時：『ケイゾク』）

1－3．オートスタートセッテイ
ケイゾ゛ク／ジ゛ッコウ／テイシ

パワーアンプウェイト時間設定

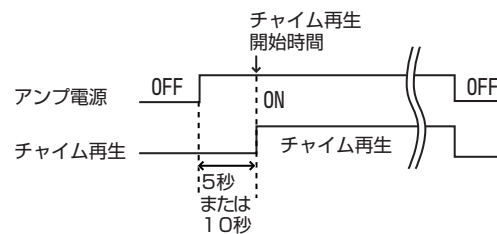
【アンプ電源】端子に接続したアンプを、チャイム再生開始の何秒前に動作させるかを設定します。
5 秒または 10 秒のどちらかを選択できます。

1. **メインメニュー画面から、『1. セッテイ』→『1-5. パワーアンプウェイトジカン』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押す**

パワーアンプウェイト時間設定画面が表示されます。

2. **【選択】左、右ボタンで、『５ビョウ』または『１０ビョウ』のどちらかを選択し、【決定 / 実行】ボタンを押す**

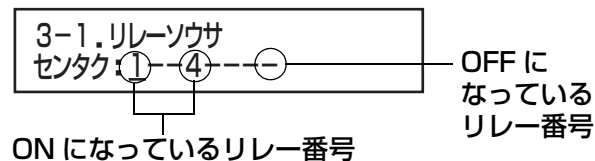
パワーアンプウェイト時間設定が確定し、自動的にパワーアンプウェイト時間設定画面に戻ります。
（工場出荷時：『５ビョウ』）

1－5．パ゜ワーアンプ゜ウェイトジ゛カン
5ヒ゛ョウ／10ヒ゛ョウ

Step5:
動作確認をする

【制御出力】端子に接続した機器を動作させる

・【制御出力】端子が正常に動作するかを確認します。
・LCD 画面に表示されている『リレー』は【制御出力】を意味しています。

1. 設定メニュー画面から、『3. ソウサ』→『3-1. リレーソウサ』の順で選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す
リレー操作選択メニューが表示されます。

2. 動作させたいリレーを ON にしたら【決定/実行】ボタンを押す
【選択】左、右ボタンで動作させたいリレー番号を選択し、【選択】上、下ボタンで ON/OFF(ON:番号表示、OFF:『－』表示)を決定します。【決定/ 実行】ボタンを押すと、リレー動作確認画面になります。

3. リレー動作確認画面で、『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す
リレー動作を行うことができるようになります。

```
3－1．リレーソウサ 1－－4－－－－
リレーオン ハイ／イイエ
```

4. リレー動作の確認が終了したら、【戻る/停止】ボタンを押す
リレー動作が OFF になり、リレー操作選択画面に戻ります。

チャイムを再生する

1. 設定メニュー画面から、『3. ソウサ』→『3-2. チャイムサイセイ』の順で選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す
チャイム設定メニュー画面が表示されます。

2. 再生したいチャイム番号と音量を設定する
【選択】左、右ボタンで、『チャイム NO.』または『オオキサ』を選択したら、【選択】上、下ボタンで各項目の設定を選択し、確定する。
チャイム:01 ～ 99
オオキサ:0 ～ 9(工場出荷時:7)

```
3－2．チャイムサイセイ
チャイム01 オオキサ7
```

3. チャイムを再生する
再生確認画面で『サイセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

```
チャイムサイセイ チャイム01
オオキサ7 サイセイチュウ ［テイシ］
```

メモ

- チャイムを再生中に【決定/実行】ボタンまたは【戻る/停止】ボタンを押すと、チャイムが停止します。
- エラーが発生した場合は、エラーメッセージが表示されます。
- 工場出荷時状態で、チャイム番号47～99を再生すると『ファイルエラー』と表示されます。これは、楽曲データがないために表示されるエラーであり、故障ではありません。

スケジュール設定作業の手順

スケジュール設定には、専門知識が必要となりますので、販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。

ご注意

- CF カードを本機に挿入してから設定を行なってください。設定した内容は CF カードに保存します。
- スケジュールを実行中(LCD 画面に、実行中のパターン名または『ジッコウチュウ』と表示されている状態)の場合は、スケジュールを停止してから設定を行なってください。(☞7 ページ「スケジュールを停止する」参照)

メモ

- ”タイマースケジュール設定ソフトウェア”(付属品)を使用し、本機の設定や本機の制御をパソコンで行うことができます。(☞35 ページ「PC を使って本機を制御する」参照)

Step1	**スケジュール設定チャートを作成する(☞20 ページ)** 実行するスケジュールを各チャートに記入します。チャートはコピーしてお使いください。 ・1 日のスケジュールチャート ・週間スケジュールチャート ・年間スケジュールチャート

Step2	**1 日のスケジュール(パターン)を設定する(☞23 ページ)** ステップを設定することで、1 日の動作パターンを設定することができます。

Step3	**週間スケジュールを設定する(☞28 ページ)** 設定したパターンを曜日に当てはめ、1 週間の動作パターンを設定します。

Step4	**年間スケジュールを設定する(☞29 ページ)** 設定したパターンを任意の日付に動作するようにできます。

Step5	**【機能】ボタン、【制御入力】端子に割り付ける機能を設定する(☞30 ページ)** 設定したスケジュール以外の特別な動作を行うための設定をします。

Step6	**設定した内容を保存する(☞32 ページ)** 設定した内容を CF カードに保存します。

Step7	**設定したスケジュールの動作確認をする(☞33 ページ)** 設定したスケジュールの内容が正常に動作するかを確認します。

設定作業完了

Step1:
スケジュール設定チャートを作成する

本機に接続した外部機器を、指定した日時に指定した動作を行うように設定します。設定するスケジュールを記入例を参考にして各チャートに記入してください。
チャートはコピーしてお使いください。

1 日のスケジュールチャート記入例

1 日、36 時間分(00 時 00 分 00 秒から翌日の 12 時 00 分 00 秒まで)の動作を設定します。最大 99 パターン設定できます。

＜チャート記入例＞

パターン番号: 1　　パターン名:ヘイジツ(平日)

開始時間	終了時間	チャイム番号	回数	リレー(制御出力)番号	備考
08:30:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	朝礼
08:35:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	1時限目開始
09:25:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	1時限目終了
09:35:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	2時限目開始
10:25:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	2時限目終了
10: 35:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	3時限目開始
11:25:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	3時限目終了
11:35:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	4時限目開始
12:25:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	4時限目終了
12:30:00	13:10:00			① ② 3 4 5 6 7 8	昼休み BGM 再生
13:10:00	:　:	2	1	1 2 3 4 5 6 7 8	予鈴
13:15:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	5時限目開始
14:05:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	5時限目終了
14:15:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	6時限目開始
15:05:00	:　:	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	6時限目終了
17:00:00	:　:	6	1	1 2 3 4 5 6 7 8	下校放送

スケジュールチャート記入例

1 日のスケジュールで作成したパターンをどの曜日にどのパターンを実行したいかを設定します。

<チャート記入例>

曜日	パターン番号	パターン名	備考
月曜日(Mon)	1	平日	
火曜日(Tue)	1	平日	
水曜日(Wed)	1	平日	
木曜日(Thu)	1	平日	
金曜日(Fri)	1	平日	
土曜日(Sat)	2	土曜	
日曜日(Sun)	3	休日	

年間スケジュールチャート記入例

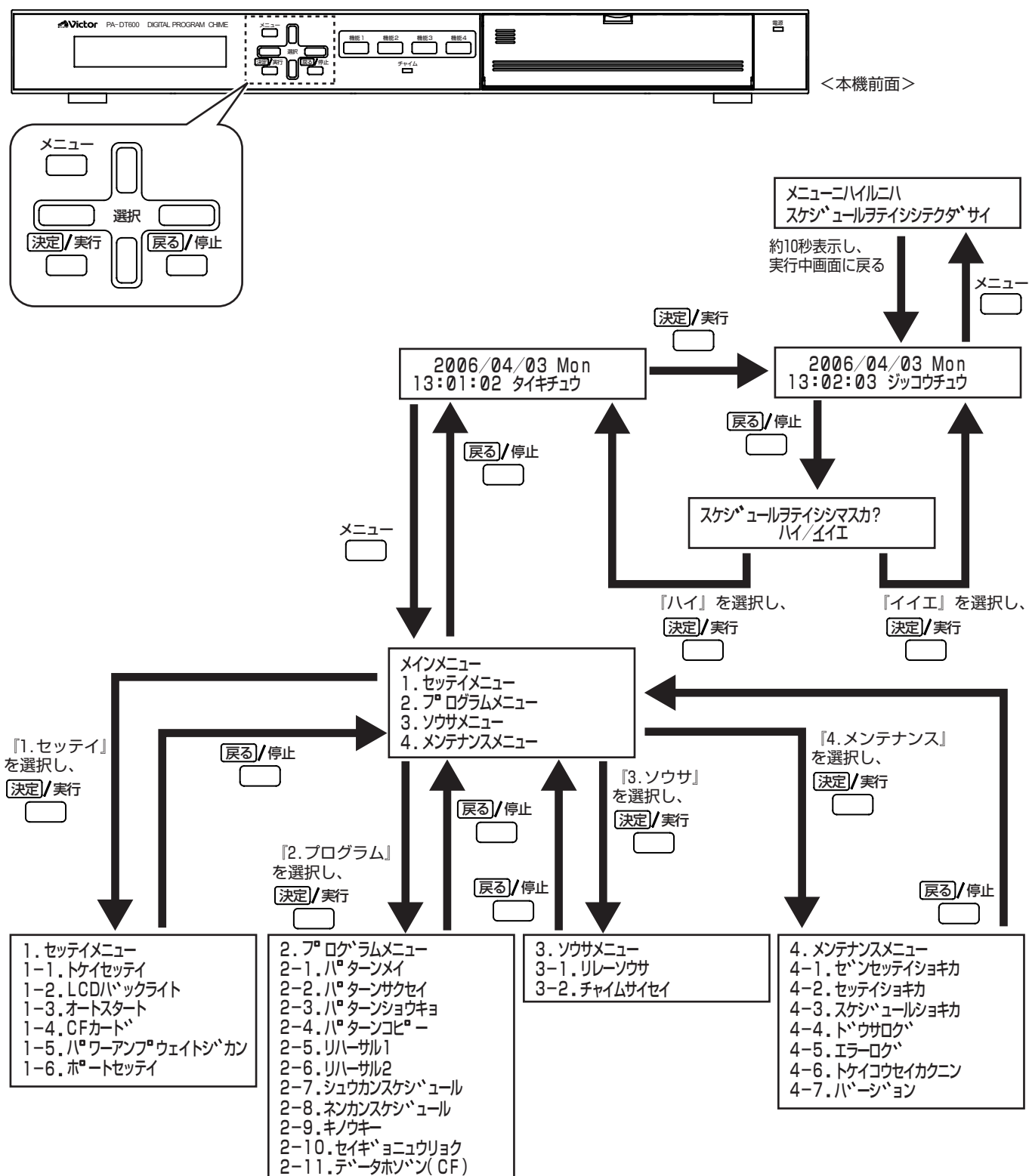
1 日のスケジュールまたは週間スケジュールで作成したパターンをいつ実行したいかを 1 年間の時期に合わせて設定することができます。

<チャート記入例>

２００６　　年

日にち	パターン番号	パターン名	備考
4月　6日	１０	入学式	
5月　１０日	１２	運動会	
7月　１９日	８	終業式	
月　　日			

メニュー画面の構成

下図は LCD 画面に表示されるメニューとメニュー間の移動構成です。
本機 LCD 画面は２行表示になっています。下位の項目を表示したい場合は、【選択】上、下ボタンを押してください。

Step2:
1日のスケジュール(パターン)を設定する

パターンは最大 99 種類作成することができます。

パターンに名前をつける

・パターン名は最大８文字まで入力可能です。
・工場出荷時のパターン名は、”パターン +01 ～ 99 の数字”（例：『パターン 01』）で設定されています。
・同じ名前のパターンを複数作成することはできません。

1. パターン選択画面を表示する。

メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-1. パターンメイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押すと、パターン選択画面になります。

2. 名前をつけたいパターンを選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

【選択】上、下ボタンで、名前をつけたいパターンを選択し、【決定/実行】ボタンを押すと、パターン名入力画面になります。

```
2-1.パターンメイ
センタク01>パターン01
```

3. 選択したパターンの名前を入力する

文字選択部から任意の文字を選択して入力します。

パターン名表示部	:文字選択部から選択した任意の文字をカーソル(＿)のある位置に表示します。【選択】左、右ボタンでカーソルの位置を移動します。
『OK』	:入力が終了したら、『OK』を選択して【決定/実行】ボタンを押すと、パターン名表示部の内容を確定します。
『ケス』	:『ケス』を選択して【決定/実行】ボタンを押すと、パターン名表示部のカーソルのある位置の文字が削除されます。
文字選択部	:文字を選択するときは、【選択】上、下ボタンでカーソルを文字選択部分に移動し、【選択】左、右ボタンで文字を選択します。画面中央の＜＞カーソル内にある文字が現在選択されている文字です。【決定/実行】ボタンを押すと、パターン名表示部のカーソルのある位置に入力されます。

パターン名　設定例

工場出荷時パターン名	パターン名の設定例
パターン 01	ヘイジツ
パターン 02	ドヨウビ
パターン 03	ニチヨウビ
⋮	⋮

4. 入力が終了したら、『OK』を選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

入力したパターン名が確定し、自動的にパターン名選択画面に戻ります。

ご注意

● 【決定/実行】ボタンを押さずに、【戻る/停止】ボタンを押すと、内容を確定せずにパターン選択画面に戻ります。

Step2:
１日のスケジュール（パターン）を設定する（つづき）

・ステップを作成することでパターン設定を行うことができます。
・最大 99 パターン作成できます。
・１つのパターンには、最大 999 ステップの設定が可能です。
・パターンの設定可能時間は、深夜営業にも柔軟に対応できるように 0 時から 36 時（翌日の 12 時）までとなっています。0 時から 12 時までの設定は前日のパターンとあわせて実行し、24 時から 36 時の設定は、翌日のパターンとあわせて実行します。ただし、チャイム、リレーの重複による矛盾がある場合はどちらのパターンのステップも実行しません。
・開始時間と終了時間には、設定できる時間帯がそれぞれ下記のように決まっています。下記の時間帯以外は設定できません。
開始時間：00 時 00 分 00 秒から 35 時 59 分 59 秒までの間。
終了時間：00 時 00 分 01 秒から 36 時 00 分 00 秒までの間。
・LCD 画面に表示されている『リレー』は【制御出力】を意味しています。

ご注意

● ステップの設定中に他のステップと、時間の重複している同一のリレー番号またはチャイムを設定すると、エラーが表示されます。エラーが表示されたら、『シュウセイ』または『トリケシ』を選択し、【決定 / 実行】ボタンをしてください。
『シュウセイ』：ステップ設定画面に戻ります。設定を修正できます。
『トリケシ』　：設定していたステップを取り消し、リレー/ チャイム設定画面に戻ります。

■１日のスケジュールチャート例

パターン番号：1　　パターン名：ヘイジツ（平日）

開始時間	終了時間	チャイム番号	回数	リレー（制御出力）番号	備考
08:30:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	朝礼
08:35:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	１時限目開始
09:25:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	１時限目終了
09:35:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	２時限目開始
10:25:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	２時限目終了
10: 35:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	３時限目開始
11:25:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	３時限目終了
11:35:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	４時限目開始
12:25:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	４時限目終了
12:30:00	13:10:00			1 2 3 4 5 6 7 8	昼休み BGM 再生
13:10:00	: :	2	1	1 2 3 4 5 6 7 8	予鈴
13:15:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	５時限目開始
14:05:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	５時限目終了
14:15:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	６時限目開始
15:05:00	: :	1	1	1 2 3 4 5 6 7 8	６時限目終了
17:00:00	: :	6	1	1 2 3 4 5 6 7 8	下校放送

ステップ１

ステップ 10、11

ステップを追加する

・選択したパターンに新規ステップを追加します。
・下記の手順は、前ページ（24 ページ）の「1 日のスケジュールチャート例」のステップ 10、11 の設定を例に説明しています。

1. パターン選択メニューを表示する。

メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-2. パターンサクセイ』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押すと、パターン選択メニューが表示されます。

2. ステップを設定したいパターンを選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

【選択】上、下ボタンで設定したいパターンを選択し、【決定/実行】ボタンを押すと、ステップ選択画面が表示されます。

```
2-2.ハ゜ターンサクセイ
センタク01>ヘイジ゛ツ    :S001
```

ご注意

- 選択したパターンに、1 つも設定したステップがない場合は、約10秒『シンキツイカシマス』と表示され、自動的にリレー/チャイム選択画面（手順 ***4.*** の『ツイカ』を選択した状態）になります。

3. 設定したいステップを選択する。

ステップ番号を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押すと、ステップ作成メニュー画面が表示されます。このとき、追加されるステップ番号は、ステップ選択画面で選択したステップ番号の次の番号になります。（例：ステップ選択画面で『S001』を選択すると、追加されるステップ番号は『S002』となります。追加した後のステップ番号は１ずつずれます。）

（例：12 時 30 分から１３時 10 分までリレー１を動作させる）

4.『ツイカ』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押す。

ステップ設定画面が表示されます。ステップの設定を行います。

```
ヘイジ゛ツ    :S010
ツイカ/テイセイ/サクジ゛ョ
```

ご注意

- 設定できるステップ数がオーバーする場合は、『* ステップスウガサイダイデス』と、約 10 秒 LCD 画面に表示され、ステップ作成メニュー画面に戻ります。

5. リレー/ チャイム選択画面で『リレー』または『チャイム』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押す。

```
ヘイジ゛ツ    :S011<ツイカ  >
リレー/チャイム
```

6. 選択した方の設定画面が表示されたら、各項目の設定をする。

■『リレー』を選択した場合

【選択】左、右ボタンで設定項目を選択したら、【選択】上、下ボタンで選択した項目の設定をします。

（例：12 時 30 分から 13 時 10 分までリレー２を動作させる）

リレー番号	：動作させたい外部機器が接続されている【制御出力】端子を選択します。
開始時間（時 / 分 / 秒）	：設定した動作を開始する時間を設定します。
終了時間（時 / 分 / 秒）	：設定した動作を終了する時間を設定します。

■チャイムの場合

・【選択】左、右ボタンで設定項目を選択したら、【選択】上、下ボタンで選択した項目の設定をします。
・下記は、前ページ（24 ページ）の「1 日のスケジュールチャート例」のステップ 1 の設定を例に説明しています。

（例：8 時 30 分から 8 時 31 分までチャイム 01 を再生する）

チャイム番号	：出力したいチャイム音を設定します。
開始時間（時 / 分 / 秒）	：設定したチャイム音を出力開始する時間を設定します。
再生回数	：チャイム音を出力する回数を設定します。1 回〜 99 回から選択できます。再生回数を『00』に設定して【決定 / 実行】ボタンを押すと、終了時間（時 / 分 / 秒）の設定をすることができます。

ご注意

- チャイムの再生間隔は、パワーアンプウェイト時間（5 秒または１０秒）以上の時間をあけてください。

Step2:
１日のスケジュール(パターン)を設定する(つづき)

ステップを追加する(つづき)

7. 設定が終わったら【決定/ 実行】ボタンを押すと、追加を続けるかの確認画面が表示されます。

■ステップの追加を続ける場合

『ハイ』を選択して【決定/ 実行】ボタンを押すと、リレー/チャイム選択画面になります。

■ステップの追加を終了する場合:

『イイエ』を選択して【決定/ 実行】ボタンを押すまたは【戻る/ 停止】ボタンを押すと、ステップ選択画面にもどります。

ご注意

- ステップの設定中に他のステップと、同一のリレー番号または同一のチャイムを設定すると、エラーが表示されます。エラーが表示されたら、『シュウセイ』または『トリケシ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンをしてください。
  『シュウセイ』:ステップ設定画面に戻ります。設定を修正できます。
  『トリケシ』 :設定していたステップを取り消し、リレー/ チャイム設定画面に戻ります。

ステップを修正する

・選択したステップの設定内容を修正します。

1. パターン選択メニューを表示する。

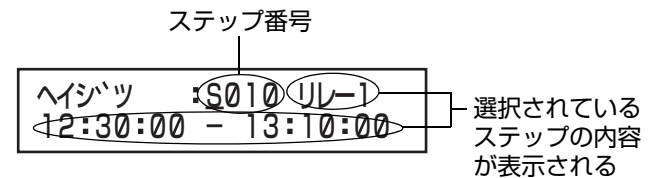
メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-2. パターンサクセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押すと、パターン選択メニューが表示されます。

2. 修正したいステップ設定しているパターンを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す。

【選択】上、下ボタンで修正したいステップを設定しているパターンを選択し、【決定/ 実行】ボタンを押すと、ステップ選択画面が表示されます。

```
2-2.ハ゜ターンサクセイ
センタク01>ヘイシ゛ツ    :S001
```

3. 修正したいステップを選択する。

ステップ番号を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押すと、ステップ作成メニュー画面が表示されます。

4.『テイセイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す。

ステップ設定画面が表示されます。

```
ヘイシ゛ツ    :S010
ツイカ/テイセイ/サクシ゛ョ
```

5.【選択】左、右ボタンで修正したい項目にカーソルを移動させ、【選択】上、下ボタンで項目の内容を設定する。

```
ヘイシ゛ツ    :S010 リレー1
12:30:00 - 13:10:00
```

5. 修正が終わったら、【決定/ 実行】ボタンを押す。

2 回点滅してからステップ選択画面に戻ります。

ご注意

- ステップの設定中に他のステップと、同一のリレー番号または同一のチャイムを設定すると、『フセイナジカンデス』というエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示されたら、『シュウセイ』または『トリケシ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンをしてください。
  『シュウセイ』:ステップ設定画面に戻ります。設定を修正できます。
  『トリケシ』 :設定していたステップを取り消し、リレー/ チャイム設定画面に戻ります。

ステップを削除する

・選択したステップを削除します。

1. パターン選択メニューを表示する。

メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-2. パターンサクセイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押すと、パターン選択メニューが表示されます。

2. 削除したいステップがあるパターンを選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

【選択】上、下ボタンで削除したいステップを設定しているパターンを選択し、【決定/実行】ボタンを押すと、ステップ選択画面が表示されます。

```
2-2.パターンサクセイ
センタク01>ヘイジツ    :S001
```

3. 削除したいステップを選択する。

ステップ番号を選択し、【決定/実行】ボタンを押すと、ステップ作成メニュー画面が表示されます。

4.『サクジョ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

ステップ設定画面が表示されます。

```
ヘイジツ    :S010
ツイカ/テイセイ/サクジョ
```

5. 削除確認画面で『ハイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

2 回点滅し、ステップ選択画面に戻ります。削除するのをやめたいときは、『イイエ』を選択または【戻る/停止】ボタンを押します。

```
ヘイジツ    :S001<サクジョ>
ハイ/イイエ
```

メモ

- 選択したステップを削除してステップ選択画面に戻ると、削除したステップの次のステップの番号が繰り上がって表示されます。
- ステップをすべて削除すると、『ゼンステップヲサクジョシマシタ』と、LCD 画面に約 10 秒表示され、パターン選択画面に戻ります。

パターンをコピーする

1. パターンコピー画面を表示する。

メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-4. パターンコピー』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。

ご注意

- ９９パターンすべてにステップが入力されている場合は、パターンをコピーすることはできません。『* アキパターンナシ』と、約 10 秒 LCD 画面に表示され、パターンコピー画面に戻ります。
  パターンをコピーしたい場合は、パターンを削除して空きのパターンを作ってください。

2. コピーしたいパターンを選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

```
2-4.パターンコピー
コピーモト01>パターン01
```

3. コピー先パターンを選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

『コピーシマシタ』と、約 10 秒 LCD 画面に表示し、パターンコピー画面に戻ります。

```
2-4.パターンコピー
コピーサキ02>パターン02
```

(例:パターン 01 の内容をパターン 02 にコピーする)

メモ

- コピー先選択画面に表示されるパターンは、空きパターンのみです。すでにステップが設定されているパターンは表示されません。
- ステップは最大4000個設定できます。4000個以上になる場合はコピーをすることができません。

パターンを削除する

1. パターン消去画面を表示する。

メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-3. パターンショウキョ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。

2. 消去したいパターンを選択する。

パターン選択画面で、消去したいパターンを【選択】上、下ボタンで選択したら【決定/実行】ボタンを押します。

```
2-3.パターンショウキョ
センタク 01>パターン01
```

3. パターン消去確認画面で『ハイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

LCD 画面に約 10 秒『ショウキョシマシタ』と表示され、パターン選択画面に戻ります。

パターン選択画面で『イイエ』を選択して【決定/実行】ボタンを押すまたは【戻る/停止】ボタンを押すと、パターンを消去せずにパターン選択画面に戻ります。

```
パターンショウキョ パターン01
ショウキョシマスカ? ハイ/イイエ
```

(例:パターン 01 を削除する)

Step3:
週間スケジュールを設定する

・どの曜日にどのパターンの動作を必ず行うかを設定できます。
・下記の設定手順は、日曜日に”休日”のパターンを設定する例での説明になっています。

■スケジュールチャート例

曜日	パターン番号	パターン名	備考
月曜日(Mon)	1	平日	
火曜日(Tue)	1	平日	
水曜日(Wed)	1	平日	
木曜日(Thu)	1	平日	
金曜日(Fri)	1	平日	
土曜日(Sat)	2	土曜	
日曜日(Sun)	3	休日	

1. 週間スケジュール設定画面を表示する。

メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-7. シュウカンスケジュール』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。曜日選択画面が表示されます。

2. パターンを設定したい曜日を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押す。

【選択】上、下ボタンで設定する曜日を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。パターン選択画面が表示されます。

```
2-7.シュウカンスケジュール
ヨウビ:ニチヨウ　パターンナシ
```

メモ

- 曜日選択画面のとき、すでにパターンを設定している曜日には、曜日の横にパターン名が表示されます。設定されていない曜日は、『パターンナシ』と表示されます。

3. 曜日に割り当てるパターンを選択する。

【選択】上、下ボタンで割り当てるを選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。2 回点滅してから自動的に曜日選択画面に戻ります。

```
2-7.シュウカン ニチヨウ
センタク03>キュウジツ
```

ご注意

- パターンは 36 時間設定できるようになっているため、前後の曜日で重なり合う時間にステップの矛盾が発生する場合があります。ステップに矛盾がある場合は、矛盾が発生しているステップ番号とエラー内容が表示されます。【決定 / 実行】ボタンを押すと、『スケジュールヲトウロクシマセン』と約 10 秒表示してから曜日選択画面に戻ります。ステップに矛盾がないか確認してからスケジュール設定をやり直してください。
  ＜矛盾する例＞
  ・同一番号のリレー動作タイミングが重なっている。
  ・チャイムの再生タイミングが重なっている。
- パターンを設定したくない曜日のときは、必ず『パターンナシ』を設定してください。

Step4:
年間スケジュールを設定する

・週間スケジュールで設定したパターン以外のパターンを実行したい日付に特別なパターンを割り当てます。
・下記の設定手順は、４月６日に”入学式”のパターンを設定する例での説明になっています。

■年間スケジュールチャート例

２００６　　年

日にち	パターン番号	パターン名	備考
４月　６日	１０	入学式	
5月　１０日	１２	運動会	
7月　１９日	８	終業式	
月　　日			

1. 年間スケジュール設定画面を表示する。

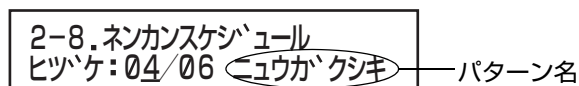
メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-8. ネンカンスケジュール』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。日付選択画面が表示されます。

2. パターンを設定したい日付を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押す。

【選択】左、右ボタンで設定する項目(月 / 日)にカーソルを移動し、【選択】上、下ボタンで月または日にちを選択します。
【決定 / 実行】ボタンを押すと、パターン選択画面が表示されます。

メモ

- すでに指定日にパターンが設定している場合は日付の横にパターン名が表示されます

2-8.ネンカンスケジュール
ヒヅケ:04/06 ニュウガクシキ ── パターン名

3. 指定日に割り当てるパターンを選択する。

【選択】上、下ボタンで割り当てるパターンを選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。2 回点滅してから自動的に曜日選択画面に戻ります。

2-8.ネンカンスケジュール04/06 ── 指定日
センタク10>ニュウガクシキ

ご注意

- パターンを設定したくない日付のときは、必ず『パターンナシ』を設定してください。
- 年間スケジュールの場合、設定したパターンのステップに矛盾が発生してもエラー表示されません。必ず、リハーサル2(☞34 ページ)を行なって正常に動作するかを確認してください。
- 何もスケジュールを実行しない日は、ステップが一つも設定されていないパターンを設定してください。

Step5: 【機能】ボタン、【制御入力】端子に割り付ける機能を設定する

特別な動作をするように設定することで、【機能】ボタンを押すまたは外部機器からの信号を受けることで、設定した動作を実行することができます。

【機能】ボタンを設定する

【機能】ボタンを押すことで、設定した内容を実行できるようにします。

1.【機能】ボタン選択画面を表示する。

メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-9. キノウキー』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。【機能】ボタン選択画面が表示されます。

2. 設定したい【機能】ボタン(『F1』〜『F4』)を選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

【選択】上、下ボタンで【機能】ボタンを選択します。【決定/実行】ボタンを押すと、機能選択画面が表示されます。

メモ

- すでに【機能】ボタンに機能が設定されている場合は【機能】ボタン表示の横に割り当てている機能が表示されます。

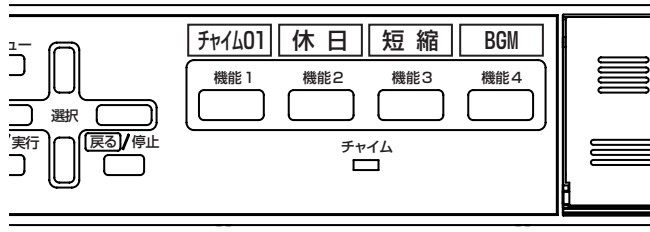
3. 割り当てたい機能を選択する。

【選択】左、右ボタンで割り当てたい機能を『パターン』、『リレー』、『チャイム』、『ナシ』から選択し、【決定/実行】ボタンを押します。

```
2-9.キノウキー F1
パターン/リレー/チャイム/ナシ
```

メモ

- 【機能】ボタンの設定が終わったら、市販のテープライターなどで【機能】ボタンの上に割り当てた機能を表示すると便利です。(テープ幅は 9 mm 以下のものをおすすめします。)

<例>

■『パターン』を選択した場合

割り当てたいパターンとモードを設定し、【決定/実行】ボタンを押します。【選択】左、右ボタンでパターンとモードのどちらかを選択し、【選択】上、下ボタンで内容を設定します。2 回点滅してから機能ボタン選択画面に戻ります。

(例:【機能】ボタン1に、『パターン 01』を『イチニチ』モードで割り当てる)

パターン:割り当てたいパターンを選択します。このとき表示されるパターンはステップが登録されているもののみです。

モード　:翌日に自動的に解除したい場合は『イチニチ』、手動で解除したい場合は『ケイゾク』を選択します。

ご注意

- 【機能】ボタンに設定したパターンは、00時00分を境に翌日のパターンに切り換わるため、パターンに設定されている 24 時 00 分〜 36 時 00 分の動作は実行されません。
- 00時00分00秒にパターンが切り換わるため、チャイム、リレー動作は 00 時 00 分 00 秒で停止します。

■『リレー』を選択した場合

【選択】上、下ボタンで割り当てたい【制御出力】端子の番号を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。2 回点滅してから機能ボタン選択画面に戻ります。

```
2-9.キノウキー F1:リレー
リレー:1
```

(例:【機能】ボタン1に、リレー1の動作を割り当てる)

■『チャイム』を選択した場合

【選択】上、下ボタンで割り当てたいチャイム番号を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。2 回点滅してから機能ボタン選択画面に戻ります。

(例:【機能】ボタン1に、チャイム 0 1の再生を割り当てる)

ご注意

- チャイムの再生回数は1回のみです。回数を設定することはできません。
- チャイムは、アンプなどの電源が入ってから5秒または 10 秒後に再生されます。(☞17 ページ「パワーアンプウェイト時間」で設定)

■『ナシ』を選択した場合

2 回点滅してから機能ボタン選択画面に戻ります。

```
2-9.キノウキー
センタク:F1 ナシ
```

<機能選択画面>

【制御入力】端子の機能を設定する

接続した外部機器からの信号を受信することで、設定した内容を実行できるようにします。

1.【制御入力】端子選択画面を表示する。

メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-10. セイギョニュウリョク』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。【制御入力】端子選択画面が表示されます。

2. 設定したい【制御入力】端子(『E1』または『E2』)を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す。

【選択】上、下ボタンで【制御入力】端子を選択します。【決定/実行】ボタンを押すと、機能選択画面が表示されます。

```
2-10.セイキ゛ョニュウリョク
センタク:E1 ナシ
```

メモ

- すでに【制御入力】端子に機能が設定されている場合は【制御入力】端子表示の横に割り当てている機能が表示されます。

3. 割り当てたい機能を選択する。

【選択】上、下ボタンで割り当てたい機能を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。

■『パターンカイシ』を選択した場合

割り当てたいパターンとモードを設定し、【決定/ 実行】ボタンを押します。【選択】左、右ボタンでパターンとモードのどちらかを選択し、【選択】上、下ボタンで内容を設定します。2 回点滅してから【制御入力】端子選択画面に戻ります。

(例:【制御入力1】に、パターン 01 を『イチニチ』モードで割り当てる)

パターン :割り当てたいパターンを選択します。
モード :翌日に自動的に解除したい場合は『イチニチ』、手動で解除したい場合は『ケイゾク』を選択します。

ご注意

- 【制御入力】端子に設定したパターンは、00時00分を境に翌日のパターンに切り換わるため、パターンに設定されている 24 時 00 分～ 36 時 00 分の動作は実行されません。
- 00 時 00 分 00 秒にパターンが切り換わるため、チャイム、リレー動作は 00 時 00 分 00 秒で停止します。

■『パターンテイシ』を選択した場合

【決定/ 実行】ボタンを押すと、2 回点滅してから【制御入力】端子選択画面に戻ります。

```
E1 パ゜ターンテイシ
```

■『チャイムサイセイ』を選択した場合

【選択】左、右ボタンでチャイム番号選択にカーソルを移動し、【選択】上、下ボタンで割り当てたいチャイム番号を選択したら【決定/ 実行】ボタンを押します。2 回点滅してから【制御入力】端子選択画面に戻ります。

ご注意

- チャイムの再生回数は 1 回のみです。回数を設定することはできません。

■『チャイムテイシ』を選択した場合

【決定/ 実行】ボタンを押すと、2 回点滅してから【制御入力】端子選択画面に戻ります。

```
E1 チャイムテイシ
```

■『リレーオン』を選択した場合

【決定/ 実行】ボタンでリレー番号にカーソル(_)を移動し、【選択】上、下ボタンで割り当てたいリレー番号を選択したら【決定/ 実行】ボタンを押します。2 回点滅してから【制御入力】端子選択画面に戻ります。

```
E1 リレーオン
リレー:1
```

■『リレーテイシ』を選択した場合

【決定/ 実行】ボタンを押すと、2 回点滅してから【制御入力】端子選択画面に戻ります。

```
E1 リレーテイシ
```

■『トケイコウセイ』を選択した場合

【決定/ 実行】ボタンを押すと、2 回点滅してから【制御入力】端子選択画面に戻ります。

```
E2 トケイコウセイ
```

ご注意

- 【制御入力】端子2(E2)のみで選択可能です。【制御入力】端子 1(E1)では、選択できません。

■『ナシ』を選択した場合

【決定/ 実行】ボタンを押すと、2 回点滅してから【制御入力】端子選択画面に戻ります。

```
E1 ナシ
```

Step6：
設定した内容を保存する

設定内容を CF カードに保存します。

ご注意

- 設定が終わったら必ず CF カードに保存してください。保存をしないと、設定した内容を実行することができません。
- 保存せずに電源を切断すると、設定した内容は消えてしまいます。

1. 保存確認画面を表示する。

メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-11. データホゾン (CF)』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。保存確認画面が表示されます。

```
2-11. データホゾン (CF)
データホゾン ハイ／イイエ
```

2.『ハイ』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押す。

設定内容が保存され、『シュウリョウシマシタ』と表示されたら【決定 / 実行】ボタンを押します。

```
2-11. データホゾン (CF)
シュウリョウシマシタ       [ ケッテイ ]
```

Step7: 設定したスケジュールの動作確認をする

リハーサル 1(パターン動作の確認)

リハーサル 1 を実行すると、選択したパターンが正常に動作するか確認できます。

メモ

- リハーサル時でも、【アンプ電源】端子に接続し、パワーアンプウェイト時間を設定していると、チャイムが再生される 5 秒または 10 秒前にアンプの電源が入ります。チャイムの再生が終了すると、アンプの電源が切れます。
- スケジュール設定にエラーが発生すると、LCD 画面にエラー内容が表示されます。(☞42 ページ「設定中のエラー表示」参照)

1. パターン選択画面を表示する。

メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-5. リハーサル 1』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。パターン選択画面が表示されます。

2. リハーサルを実行したいパターンを選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

開始時間設定画面が表示されます。

```
2-5.リハーサル1
センタク01>パ゜ターン01
```

3.『カイシジカンセンタク』を設定し、【決定/ 実行】ボタンを押す。

2回点滅してから、設定した時間以降の時間帯に設定してあるステップのリハーサルから開始します。

```
2-5.リハーサル1 パ゜ターン01
カイシジ゛カンセンタク 13:00:00
```

(例:パターン 01 のリハーサルを13時 00 分 00 秒から開始する)

4. リハーサルを実行する

設定した時間の順にステップが実行されます。1 つのステップが終了したら、リハーサル画面で『ケイゾク』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。次のステップのリハーサルを実行します。

```
パ゜ターン01   13:00:00
シ゛ッコウ ケイソ゛ク/シュウリョウ
```

5. リハーサルを終了する

リハーサル実行画面で『シュウリョウ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。開始時間設定画面に戻ります。

```
パ゜ターン01   13:00:00
シ゛ッコウ ケイソ゛ク/シュウリョウ
```

メモ

- リハーサル中のパターン内のステップがすべて終了すると、『リハーサルシュウリョウ』表示されます。【決定/ 実行】ボタンを押すと、パターン選択画面に戻ります。

```
パ゜ターン01   24:00:00
リハーサルシュウリョウ    [ケッテイ]
```

- リハーサル画面は 2 つあります。【選択】上、下ボタンを押すことで切り換えることができます。リハーサル画面 2 では、実行中の動作状態を確認することができます。

```
リレーオン 1-34-678チャイム01
シ゛ッコウ ケイソ゛ク/シュウリョウ
```

ご注意

- 楽曲データのないチャイム番号(工場出荷時状態では、47 〜 99)を選択した場合は音声出力されません。

Step7:
設定したスケジュールの動作確認をする(つづき)

リハーサル 2
(年間スケジュールの動作確認)

リハーサル 2 を実行すると、指定日のパターンが正常に動作するか確認できます。

メモ

- リハーサル時でも、【アンプ電源】端子に接続し、パワーアンプウェイト時間を設定していると、チャイムが再生される 5 秒または 10 秒前にアンプの電源が入ります。チャイムの再生が終了すると、アンプの電源が切れます。
- スケジュール設定にエラーが発生すると、L C D 画面にエラー内容が表示されます。(☞42 ページ「設定中のエラー表示」参照)

1. 日付選択画面を表示する。

メインメニュー画面から、『2. プログラムメニュー』→『2-6. リハーサル 2』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。日付選択画面が表示されます。

2. リハーサルを実行したい日にち(年月日)を設定し、【決定 / 実行】ボタンを押す。

開始時間設定画面が表示されます。

(例:06 年 04 月 03 日のスケジュールのリハーサルを実施する)

3.『カイシジカンセンタク』を設定し、【決定/ 実行】ボタンを押す。

2回点滅してから、設定した時間以降の時間帯に設定してあるステップのリハーサルから順番に開始します。

```
2-6.リハーサル2 06/04/03
カイシジカンセンタク 13:00:00
```

4. リハーサルを実行する

設定した時間の順にステップが実行されます。1 つのステップが終了したら、リハーサル画面で『ケイゾク』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。次のステップのリハーサルを実行します。

```
06/04/03 13:00:00
ジッコウ ケイゾク/シュウリョウ
```

5. リハーサルを終了する

リハーサル実行画面で『シュウリョウ』を選択し、【決定 / 実行】ボタンを押します。開始時間設定画面に戻ります。

```
06/04/03 13:00:00
ジッコウ ケイゾク/シュウリョウ
```

メモ

- リハーサルは、『シュウリョウ』を選択するまで継続します。

```
06/04/03 13:00:00
リハーサルシュウリョウ [ケッテイ]
```

- リハーサル画面は 2 つあります。【選択】上、下ボタンを押すことで切り換えることができます。リハーサル画面 2 では、実行中の動作状態を確認することができます。

```
リレーオン 1-34-678チャイム01
ジッコウ ケイゾク/シュウリョウ
```

PCを使って本機を制御する

タイマースケジュール設定ソフトウェア(付属品)がインストールされているPCと本機を接続することで、本機の設定、動作を制御することができます。詳しくは、付属の「タイマースケジュール設定ソフトウェア」の操作マニュアルをご覧ください。

PCとの接続

・PCと本機前面にある【USB】端子を接続します。
・一時的にタイマースケジュール設定ソフトウェア(付属品)をインストールしたPCと接続したいときに【USB端子を使用します。

■ポート設定

ポート設定を『USB』に設定します。
(工場出荷時:『USB』)

1. ポート選択画面を表示する。

メインメニュー画面から、『1. プログラムメニュー』→『1-6. ポートセッテイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。ポート選択画面が表示されます。

2.【選択】左、右ボタンで、『USB』または『RS-232C』を選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

2回点滅してから自動的にメニュー画面に戻ります。

```
1-6.ポートセッテイ
USB/RS-232C
```

メモ

- タイマースケジュール設定ソフトウェアを使用する場合は『USB』に設定します。
- 『RS-232C』は機能拡張に使用します。

■PCの推奨仕様

OS	:日本語 WindowsXP HOME Edition、Professional Edition SP2以上
CPU	:Pentium 4 プロセッサ、2 GHz以上
メモリー	:128 MB以上
ハードディスク	:アプリケーション標準 100 MB以上の空き容量

ご注意

- PC の仕様は、タイマースケジュール設定ソフトウェア(付属品)を快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしているパソコンをお使いでも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合もあります。

メモ

- **オリジナルチャイムの作成について**
  「タイマースケジュール設定ソフトウェア」(付属品)を使用し、PCで作成することができます。
  オリジナルチャイムの作成方法については、「タイマースケジュール設定ソフトウェア」の操作マニュアルをご覧ください。
- **『P』表示について**
  PCとの接続状態のときには、LCD画面に『P』と表示されます。

```
 2006/04/03 Mon
13:02:03 タイキチュウ
```

PCとの通信中に表示

すべての設定を初期化する

すべての設定(『1. セッテイメニュー』内の設定、『2. プログラムメニュー』内のスケジュールデータ)を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. 設定初期化メニューを表示する。

メインメニュー画面から、『4. メンテナンスメニュー』→『4-1. ゼンセッテイショキカ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。初期化画面が表示されます。

2.『ハイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

すべての設定が初期化され、設定初期化メニューに戻ります。
『イイエ』を選択して【決定/実行】ボタンを押すまたは【戻る/停止】ボタンを押すと、すべての設定を初期化せずに初期化メニューに戻ります。

```
4-1.ゼンセッテイショキカ
ショキカ&リスタート ハイ/イイエ
```

設定メニュー内の設定を初期化する

『1. セッテイメニュー』内の設定を工場出荷時の設定に戻します。

1. 設定初期化メニューを表示する。

メインメニュー画面から、『4. メンテナンスメニュー』→『4-2. セッテイショキカ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。初期化確認画面が表示されます。

2.『ハイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押す。

設定データが初期化され、自動的に待機中画面または実行中画面に戻ります。
『イイエ』を選択して【決定/実行】ボタンを押すまたは【戻る/停止】ボタンを押すと、設定データを初期化せずに初期化メニューに戻ります。

```
4-2.セッテイショキカ
ショキカ&リスタート ハイ/イイエ
```

スケジュールデータを初期化する

『2. プログラムメニュー』内のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

1. 設定初期化メニューを表示する。

メインメニュー画面から、『4. メンテナンスメニュー』→『4-3. スケジュールショキカ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。初期化確認画面が表示されます。

2.『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押す。

スケジュールデータが初期化され、自動的に待機中画面または実行中画面に戻ります。
『イイエ』を選択して【決定/ 実行】ボタンを押すまたは【戻る/ 停止】ボタンを押すと、スケジュールデータを初期化せずに初期化メニューに戻ります。

```
4-3.ｽｹｼﾞｭｰﾙｼｮｷｶ
ｼｮｷｶ&ﾘｽﾀｰﾄ ﾊｲ/ｲｲｴ
```

動作ログ

本機が行なった動作を確認することができます。

ご注意

- 本機に記録できる動作ログは最大 100 件です。100 件を超える場合は、一番古い動作ログが消去されます。

動作ログを確認する

1. ログ確認画面を表示する。

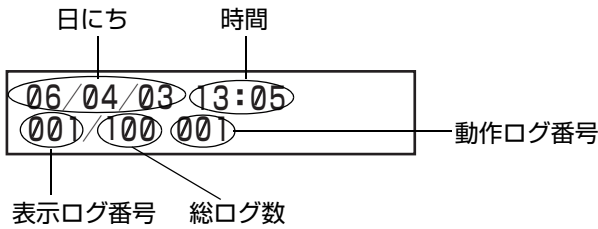
メインメニュー画面から、『4. メンテナンスメニュー』→『4-4. ドウサログ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。
最新の動作ログのログ確認画面が表示されます。

メモ

- ログが一つも記録されていない場合は、『ログハアリマセン』と表示されます。

4-4.ト゛ウサログ゛
ログ゛ハアリマセン

2. 確認したいログを表示する。

【選択】上、下ボタンでログをスクロールすることができます。

日にち　　　：動作を実行した日にちです。
時間　　　　：動作を実行した時間です。
動作ログ番号：実行した動作です。
（☞38 ページ「動作ログパターン表」参照）
表示ログ番号：現在表示しているログ番号です。
001：最新ログ
↓
100：最古ログ
総ログ数　　：本機に登録されているログの総数です。
最大１００個まで登録されます。

動作ログを削除する

本機に記録されている動作ログをすべて削除することができます。

1. ログ確認画面が表示されていることを確認する。

06/04/03 13:05
001/100 001

2.【機能 1】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 2】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 3】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 4】ボタン→【選択】右ボタンの順番に押す。

ログ消去確認画面が表示されます。

3.『ハイ』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押します。

ログは削除されます。2 回点滅してからログメニュー画面が表示されます。
『イイエ』を選択して【決定/ 実行】ボタンを押すまたは【戻る/ 停止】ボタンを押すと、ログを消去せずにログメニュー画面に戻ります。

ト゛ウサログ゛ヲ、ショウキョシマスカ?
ハイ/イイエ

動作ログパターン表

動作ログ番号	動作内容
001	電源 ON
002	スケジュール実行開始
003	スケジュール実行停止
017	【機能】ボタン 1 実行
018	【機能】ボタン 2 実行
019	【機能】ボタン 3 実行
020	【機能】ボタン 4 実行
033	【機能】ボタン 1 実行（PC より）
034	【機能】ボタン 2 実行（PC より）
035	【機能】ボタン 3 実行（PC より）
036	【機能】ボタン 4 実行（PC より）
049	【制御入力】1 実行
050	【制御入力】2 実行
081	PC 通信開始
082	PC 通信終了
097	ボタンロック設定
098	ボタンロック解除
114	CF カード取り出し
115	CF カード挿入
129	設定メニュー変更
146	時計設定を行なった
147	時計校正された

エラーログ

本機の動作中に発生したエラーを確認することができます。

ご注意

- 本機に記録できるエラーログは最大 100 件です。100 件を超える場合は、一番古いエラーログが消去されます。

エラーログを確認する

1. ログ確認画面を表示する。

メインメニュー画面から、『4. メンテナンスメニュー』→『4-5. エラーログ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。
最新のエラーログのログ確認画面が表示されます。

メモ

- ログが一つも記録されていない場合は、『ログハアリマセン』と表示されます。

```
4-5.ｴﾗｰﾛｸﾞ
ﾛｸﾞﾊｱﾘﾏｾﾝ
```

2. 確認したいログを表示する。

【選択】上、下ボタンでログをスクロールすることができます。

日にち	:	エラーが発生した日にちです。
時間	:	エラーが発生した時間です。
エラー番号	:	発生したエラーです。(☞40 ページ「エラーログパターン表」参照)
パラメーター	:	発生したエラーの詳細です。 ＰＣ 通信エラー、チャイムエラーのみ表示されます。(☞40 ページ「エラーログパターン表」参照) ※ＰＣ 通信エラー、チャイムエラー以外のパラメーターは表示されません。
表示ログ番号	:	現在表示しているログ番号です。 001:最新ログ ↓ 100:最古ログ
総ログ数	:	本機に登録されているログの総数です。 最大１００個まで登録されます。

エラーログを削除する

本機に記録されているエラーログをすべて削除するこができます。

1. ログ確認画面が表示されていることを確認する。

```
06/04/03 13:05
001/100 E001 CHIME01
```

2.【機能 1】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 2】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 3】ボタン→【選択】右ボタン→【機能 4】ボタン→【選択】右ボタンの順番に押す。

ログ消去確認画面が表示されます。

3.『ハイ』を選択し、【決定/実行】ボタンを押します。

ログは削除されます。2 回点滅してからログメニュー画面が表示されます。

『イイエ』を選択して【決定/実行】ボタンを押すまたは【戻る/停止】ボタンを押すと、ログを消去せずにログメニュー画面に戻ります。

```
ｴﾗｰﾛｸﾞｦ､ｼｮｳｷｮｼﾏｽｶ?
      ﾊｲ/ｲｲｴ
```

エラーログ(つづき)

エラーログパターン表

エラー番号	パラメーター	エラー内容	対応
E001		ハードエラー	①
E002			
E003			
E004		本機の動作中に CF カードを取り出した	②
E005		設定データの読み込みエラー	②
E006		設定データの書き込みエラー	②
E033		起動時、CF カードが本機に挿入されていない	②
E034		ステップ重複(リレー)	③
E035		ステップ重複(チャイム)	③
E036	PC0048	PC 通信時エラー	④
	PC4192		
	PC0001		
	PC0003		
	PC4097		
	PC4098		
	PC4099		
E037	CHIME ＊＊	チャイム楽曲エラー	②
E038			
E039			
E040			
E041			
E065		ハードエラー	①

※ パラメーター欄に記載されているものは、LCD 画面に表示される内容です。記載がないものは、LCD 画面にはなにも表示されません。
※ パラメーター欄の"CHIME ＊＊"の"＊＊"部分には、設定していたチャイム番号が表示されます。
※『E038』のエラーは、楽曲データのないチャイム番号(工場出荷時状態では、チャイム番号 47 ～ 99)を選択した場合にも表示されます。

※「対応」に記載されている番号の詳細は下記のとおりです。

①： 販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

②： CF カードを正しく挿入してください。

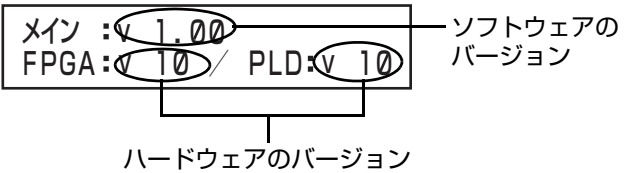
③： スケジュールを正しく設定してください。

④： 通信用ケーブルを正しく接続してください。

※②、③、④ の対応を行なっても、再度エラーが発生する場合は、販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

バージョン表示

・現在使用中のソフトウェアとハードウェアのバージョンを確認することができます。
・メインメニュー画面から、『4. メンテナンスメニュー』→『4-7. バージョン』を選択し、【決定/ 実行】ボタンを押すと、バージョン確認画面が表示されます。

メモ

- 【決定/ 実行】ボタンまたは【戻る/ 停止】ボタンを押すと、バージョン表示メニュー画面に戻ります。

こんなときは

ご使用中に「故障かな？」と思ったら下表または「各種エラー表示」(☞42 ページ)を参考に確認をしてください。それでも直らない場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

症　状	確　認	処　置	参照ページ
電源が入らない	電源コードがぬけていませんか。	電源コードを接続してください。	−
ボタンを押しても反応がない	ボタンをロックしていませんか。	ボタンのロックを解除します。	9 ページ
FM ラジオチューナーでの時刻補正ができない	アンテナが接続されていますか。	アンテナ線を接続します。	13 ページ
	チャンネルが合っていますか。	受信チャンネルを設定します。	
	補正範囲を超えていませんか。	誤差± 15 秒に時計を合わせてください。	
スケジュールが実行できない	スケジュールにパターンが設定されていますか。	スケジュールにパターンを設定してください。	28 ページ 29 ページ
	エラー表示がでていませんか。	表示されているエラー内容を確認し、処置を行なってください。	42 ページ
		エラーログで確認し、販売店またはビクターサービス窓口にご連絡ください。	39 ページ
ＬＣＤ 画面に一定間隔でメッセージが表示される	本機に異常が発生している場合があります。	動作確認を行なってください。	18 ページ
	直前に【機能】ボタンを押しましたか。	異常ではありません。	−
ＬＣＤ 画面が見にくい	バックライトが消灯していませんか。	バックライトの設定を『テントウ』に設定してください。	16 ページ
電源を切ったあと、時計が狂ってしまう	内蔵のバッテリーが寿命です。	販売店またはビクターサービス窓口にご連絡ください。	−
電源投入後、バックライトが点滅している	故障が発生しました。	販売店またはビクターサービス窓口にご連絡ください。	−
設定中にメッセージが表示される	表示されている内容を確認してください。	「各種エラー表示」を参考に対応してください。	42 ページ
LCD 画面に『E』が表示される	スケジュール設定でチャイム重複、リレー重複が存在していませんか。	スケジュールの設定内容を確認してください。	24 ページ
	機能ボタン、制御入力に、スッテプが 1 つも設定されていないパターンを実行していませんか。		30 ページ
	楽曲データのないチャイム番号(工場出荷時状態では、チャイム番号 47 〜 99)を選択していませんか。		24 ページ

各種エラー表示

設定中のエラー表示

エラー内容	原因	処置	参照ページ
『トケイヲセッテイシテクダサイ』	現在、設定されている日時が 2006 年 2 月以前のとき、起動時に約 10 秒表示します。	時計設定で現在の日時に設定してください。	16 ページ
『* モジヲニュウリョクシテクダサイ』	パターン名編集時に、パターン名が空白になっています。	パターン名には空白以外の文字を入力してください。	23 ページ
『フセイナジカンデス』	ステップ入力時、開始時間を終了時間より遅い時間に設定しています。	開始時間を終了時間より早い時間に修正します。	26 ページ
『リレーチョウフク シュウセイ / トリケシ』	ステップを入力時、同一パターン内の他のステップのリレーの動作時間と重複しています。	同一パターン内にある他のステップと同じリレーの動作時間が重ならないように設定してください。	25 ページ
『チャイムチョウフク シュウセイ / トリケシ』	ステップを入力時、同一パターン内の他のステップのチャイム再生時間と重複しています。	同一パターン内にある他のステップと同じチャイムの再生時間が重ならないように設定してください。	25 ページ
『* ステップスウガサイダイデス』	・パターン作成時に、1 つのパターンに 999 ステップを超える場合に表示されます。 ・パターン作成時に、すべてのパターンに設定されているステップ数が 4000 ステップを超える場合に表示されます。	使用しないステップを削除してから、ステップを追加してください。	25 ページ 27 ページ
『* トウロクパターンナシ』	パターンコピー時、どのパターンにもステップが入力されていません。	パターンを作成してください。	25 ページ
『* アキパターンナシ』	パターンコピー時、すでに 99 パターンすべてにステップが入力されています。	使用しないパターンを削除してください。	27 ページ
『* アキステップガアリマセン』	・すでに入力できるステップ数がすでに最大になっている場合に表示されます。 ・パターンをコピーした結果、ステップの最大入力数を超えてしまう場合に表示されます。	使用しないステップを削除してください。	27 ページ
『* パターンヲセッテイシテクダサイ』	リハーサル実行時、どのパターンにもステップが入力されていない場合に表示されます。	週間スケジュールまたは年間スケジュールの設定をしてください。	28 ページ 29 ページ
『* エラー　ケイゾク / シュウリョウ』	リハーサルの実行時に、リレーまたはチャイムの重複エラーが発生した場合に表示されます。	年間スケジュールまたは週間スケジュールのパターンが重複していないか確認してください。	25 ページ
『* チャイムチョウフク』	週間スケジュールの設定時に、設定している曜日の前後の曜日とチャイムのステップが重複しているときに表示されます。	チャイムが重複しないように、パターンを修正してください。	26 ページ
『* リレーチョウフク』	週間スケジュールの設定時に、設定している曜日の前後の曜日とリレーのステップが重複しているときに表示されます。	リレーが重複しないように、パターンを修正してください。	26 ページ
『* トウロクパターンナシ』	【機能】ボタンにパターンを設定するとき、どのパターンにもステップが入力されていない場合に表示されます。	パターンにステップを入力してください。	25 ページ
『* ファイルエラー』	操作メニューの設定時やチャイム再生時に、ＣＦ カードに該当のデータが保存されていなかったりファイルが破損していると表示されます。	・ＣＦ カードに該当のデータが保存されているか確認してください。 ・CF　カードを正しく挿入してください	–

動作中のエラー表示

エラー内容	原因	処置	参照ページ
『スケジュールヲセッテイシテクダサイ』	週間スケジュール、年間スケジュール、【機能】ボタン、【制御入力】端子のどれにもパターンが設定されていません。	週間スケジュール、年間スケジュール、【機能】ボタン、【制御入力】端子のどれかを設定してください。	28 ページ 29 ページ 30 ページ
『*CF カクニン』	起動時に、CF カードが本機に挿入されていません。	CF カードを本機に正しく挿入してください。	15 ページ
『* システムエラー』	・起動時に、システムが正常に立ち上がらなかったときに表示されます。 ・CF データが保存されていないまたはデータが壊れています。	CF カードに正常なデータが保存されているかを確認してください。	−
『CF カクニン』	起動時に、CF カードから正常にデータを読み取れなかったときに表示されます。	正常なデータが保存された CF カードを本機に挿入してください。	15 ページ
『CF ガトリダサレマシタソウニュウシテクダサイ』	通常の手順以外で本機から CF カードが取り出されたときに表示されます。	すぐに CF カードを挿入してください。 ※電源が入っているときは、CF カードを取り出す手順とおりに行なってください。	15 ページ
『CF イジョウソウニュウシテクダサイ』	CF カードを再挿入したとき、データを正常に認識できなかったときに表示されます。	正常なデータが保存された CF カードを本機に再度挿入してください。	15 ページ
『キドウヲ、テイシシマス * エラーハッセイ SRAM』	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	−
『キドウヲ、テイシシマス * エラーハッセイ FPGA』	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	−
『キドウヲ、テイシシマス * エラーハッセイ CPLD』	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	−
『* ディスクエラー』	動作時に、CF カードからデータを正常に読み取れなかったときに表示されます。	CF カードに正常なデータが保存されているかを確認してください。	−
『* サイセイエラー』	動作実行時、設定していた動作が正常に実行されなかったときに表示されます。	CF カードに正常なデータが保存されているかを確認してください。	−

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望ににより有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	:デジタルプログラムチャイム
品番	:PA-DT600
お買い上げ日	:
故障の状況	:故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品交換にともなう部品代、および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

部品名　:	バッテリー(ビクター品番:QAB060-002)

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

●基本仕様

電源　：AC 100 V　50 Hz/60 Hz、DC 24 V
消費電力　：11.5 W
使用温度範囲　：0 ℃～ 40 ℃
質量　：約 3.8 kg
寸法　：44 mm × 420 mm × 280 mm
（突起部含まず）（高さ×幅×奥行き）
仕上げ　：フロントパネル；
ライトグレーABS 樹脂（マンセル 3Y6/0.6 近似、日塗工 CN-65(2005 年)近似）
トップカバー；
ライトグレー塗装鋼板（マンセル 3Y6/0.6 近似、日塗工 CN-65(2005 年）近似）
関連商品　：ラックマウント金具 PA-U11(EIA 1U)

●入出力

時計校正入力　：30 秒式親時計± 24 V、ねじ式端子
音声入力(10 kΩ、－ 10 dBs)、
ねじ式端子
通信ポート　：USB 標準 B タイプ（本機前面）
RS-232C、D-SUB 9 ピン・オス
（本機後面）
制御入力（×２）：無電圧メーク接点およびオープンコレクター出力に適合、ねじ式端子
制御出力（×８）：リレー接点（DC 30 V、1 A）
ねじ式端子
アンプ電源制御出力：リレー接点（DC 30 V、1 A）
ねじ式端子

●タイマー部

時計精度　：月差± 5 秒(+25 ℃)
基準発振　：水晶発振
停電補償　：時計；30 日以上（0 ℃～ +40 ℃）
時刻表示　：西暦年、月、日、曜日、時（24 時）、分、秒
総ステップ数　：4000 ステップ
パターン数　：99 パターン
（1 パターンあたり最大 999 ステップ）
スケジュール　：週間 / 年間スケジュール設定可能
その他　：タイマースケジュール設定ソフトウェア付属

●チャイム部

音源　：PCM 音源（fs 44.1 kHz、モノラルまたは
fs 22.05 kHz、モノラルまたはステレオ）
チャイム音・楽曲数：46 種類（工場出荷時）
※ 2 ページの「チャイム音・楽曲一覧」を参照
デジタルチャイムカード(CFカード)：実装済み

●タイマー部（つづき）

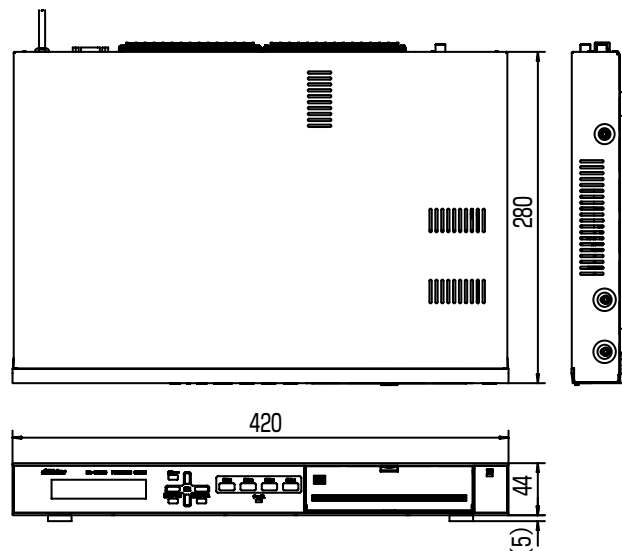
チャイム出力　：出力レベル；
基準－ 10 dBs
最大 8.2 dBs ± 3 dB
（メインボリューム最大時）
端子；
L/R ステレオ、RCA ピンジャック
（モノラル使用時は L に接続）
ヘッドホン出力　：出力レベル；
3 mW(8 Ω ～ 32 Ω)
端子；ϕ3.5 複式ミニジャック

●操作部

表示部　：LCD 表示；
20 文字× 2 行（バックライト付き）
電源表示；緑色 LED × 1
チャイム動作表示；LED × 1
操作スイッチ　：【選択】上、下、右、左ボタン、
【機能】1,2,3,4 ボタン、
【メニュー】ボタン、
【決定 / 実行】ボタン
【戻る / 停止】ボタン

●付属品・添付物

取扱説明書（本書）× 1
保証書× 1
安全上のご注意× 1
ビクターサービス窓口案内× 1
タイマースケジュール設定ソフトウェア(CD-ROM) × 1

■外形寸法図（単位：mm）

※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

＜コピーしてお使いください＞

■週間スケジュールチャート

曜日	パターン番号	パターン名	備考
月曜日(Mon)			
火曜日(Tue)			
水曜日(Wed)			
木曜日(Thu)			
金曜日(Fri)			
土曜日(Sat)			
日曜日(Sun)			

■年間スケジュールチャート

年

日にち	パターン番号	パターン名	備考
月　　日			
月　　日			
月　　日			
月　　日			
月　　日			
月　　日			
月　　日			
月　　日			
月　　日			
月　　日			
月　　日			
月　　日			